



ネットワーク ビデオ レコーダー ユーザーマニュアル

2020/07版
セキュリティデザイン株式会社

機器説明書

安全上のご注意.....	4
アース（接地）について.....	8
重要.....	10
ハードウェア説明.....	11
概要.....	11
主な仕様.....	11
同梱品.....	12
各部の名称と機能.....	13
設置と接続.....	14
電源ケーブル接続.....	14
周辺機器接続.....	14
HDD設置.....	16
1. NVR動作設定.....	17
1-1 電源オン.....	17
1-2 ストレージ設定.....	18
1-3 録画設定.....	19
1-4 日付/時間設定.....	19
1-5 ディスプレイ設定&その他設定.....	19
1-6 検索.....	20
1-7 バックアップ.....	20
1-8 NVR情報確認.....	20
2. システム運用.....	21
2-1 ライブモード&アイコン.....	21
2-2 システムログイン.....	22
2-2-1 ユーザー&権限設定.....	22
2-2-2 ログイン.....	22
2-2-3 ログアウト.....	22
2-3 その他.....	23
2-3-1 分割画面&カメラ順次切替画面.....	23
2-3-2 ズーム.....	24
2-3-3 PTZを利用した画面コントロール機能.....	24
2-4 製品情報表示&画面設定変更.....	26
2-4-1 製品情報.....	26
2-4-2 ディスプレイ設定.....	26
2-4-3 スクリーンセーバー.....	26
2-5 制御.....	27
2-6 検索.....	27
2-6-1 検索モード.....	27
2-6-2 カレンダー検索.....	27
2-6-3 日時指定再生.....	28

2-6-4	最後から再生	28
2-6-5	最初から再生	28
2-6-6	前回の続きから再生	28
2-7	再生	28
2-7-1	再生と再生速度調整	28
2-7-2	スマート検索	29
2-7-3	パノラマ再生	30
2-7-4	カレンダー検索	30
2-7-5	マルチ時間	30
2-7-6	マルチ日	30
2-7-7	イベント再生	30
2-7-8	バックアップ	30
2-7-9	画面モード	30
2-8	ログビューアー	31
2-9	録画	32
2-9-1	録画方式	32
2-9-2	録画設定	32
2-10	バックアップ	32
2-10-1	ライブビューモードのバックアップ	32
2-10-2	検索モードでのバックアップ	33
2-10-3	ログモードでのバックアップ	33
2-10-4	再生モードでのバックアップ	34
2-10-5	バックアップ（共通）	34
2-11	設定データ保存及び設定データアップグレード	35
2-12	ログのバックアップ	36
2-13	スナップショット	36
2-14	QRコード（ネットワーク情報）	37
3.	設定	38
3-1	時間	38
3-1-1	時刻同期	39
3-1-2	日時	39
3-1-3	タイムゾーン	40
3-1-4	自動再起動	40
3-2	カメラ	41
3-2-1	カメラ	41
3-2-2	PTZ	41
3-2-3	PTZ 制御	42
3-2-4	イベント	42
3-2-5	リレー	43
3-3	IPカメラ	44
3-3-1	IPカメラ登録	44
3-3-2	映像設定	45
3-3-3	IPカメラストリーム設定	45
3-3-4	IPカメラ情報	46

3-4	録画	47
3-4-1	録画設定 (録画設定1 ~ 録画設定4)	47
3-4-2	イベント録画	47
3-4-3	録画	48
3-4-4	アラーム	48
3-4-5	保持時間	49
3-4-6	ログ	49
3-4-7	Push通知	50
3-5	スケジュール	50
3-5-1	スケジュール設定	50
3-6	ストレージ	51
3-6-1	画像保存制限	51
3-6-2	HDD上書	51
3-6-3	ローカルストレージ管理	51
3-7	ネットワーク	53
3-7-1	イーサネット (Ethernet1、2)	53
3-7-2	DDNS	55
3-7-3	メール	55
3-7-4	帯域	57
3-7-5	FTP	57
3-8	システム	59
3-8-1	ユーザー設定	60
3-8-2	アップグレード	60
3-8-3	工場初期化	61
3-8-4	アラーム動作	62
3-8-5	アラーム保持時間	62
3-8-6	自動ログアウト	62
3-8-7	言語	62
3-8-8	ビデオロス検知時間	63
3-8-9	オペレーションタイプ	63
3-8-10	再生時ユーザー認証	63
3-8-11	ログアウト時映像非表示	63
4.	Webサービス	64
4-1	Webサービス	64
4-1-1	Webサービス接続	64
4-1-2	ウェブサービスの機能	65
5.	別添 推奨するPTZカメラのプロトコル	68

機器説明書

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、本装置を安全に正しくお使いください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

記号表示の意味は次の通りです。

誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 Warning	「死亡や重症を負う恐れがある内容」です。
 注意 Caution	「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

警告 Warning

- ◆ **工事は販売店にご相談ください**
工事には技術と経験が必要です。必ず販売店にご相談ください。
- ◆ **分解しない、改造しない**
故障と思われる場合は販売店に相談ください。
- ◆ **異物を入れない**
水や金属が内部に入ると火災や感電の原因となります。
→ 異物が入った場合、直ちに電源プラグを抜き、販売店に連絡ください。
- ◆ **異常があるときは、すぐ使用をやめる**
煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるケガ、器物損壊の原因となります。
→ 放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- ◆ **機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない**
水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。
→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- ◆ **電源プラグのほこりなどは定期的にする**
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
→ 電源プラグを抜き、乾いた布で良く拭いてください。
- ◆ **不安定な場所に置かない**
落下や転倒によるケガや事故の原因となります。
- ◆ **雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない**
感電の原因となります。
- ◆ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因となります。

◆ **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

→ コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

◆ **アースを確実に取り付ける**

本機の電源プラグはアース端子付き 2 芯プラグです。アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

→ 販売店に相談してください。(アース工事費は本製品の価格には含まれていません。)

◆ **電源を入れたまま工事、配線をしない**

火災や感電の原因となります。

◆ **電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く**

コード部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

→ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

◆ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない**

たこ足配線などで、器具の定格を超えると発熱による火災の原因となります。

◆ **振動や強い衝撃を与えない**

火災や感電の原因となります。



注意

◆ **湿気やほこりの多い場所に設置しない**

火災や感電の原因となります。

◆ **通風口をふさがない**

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

◆ **リチウム電池は同一型名または同等品と交換する**

異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

→ 交換は販売店に相談ください。

◆ **SDHC/SD メモリーカード（別売り）は、乳幼児の手の届く所に置かない**

誤って飲み込むおそれがあります。

→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医者にご相談ください。

◆ **ひび割れや変形・補修したディスクは使用しない**

内部で飛び散って故障やケガの原因となります。

◆ **リチウム電池使用上の注意**

間違った方法にてリチウム電池が交換されると危険です。使用したリチウム電池を処理の際には指定された処理方法で行ってください。

取り扱い上のお願い



警告



注意

に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取扱上のおお願い

◆ 使用電源

電源には必ず AC100V 50Hz/60Hz 電源をご使用ください。

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源を取らないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

※電源ケーブルは必ず接地してください。

◆ 電源について

本機電源「オン、オフ」をする時には背面のスイッチを利用してください。

電源は必ず分電盤のサーキットブレーカーを経由した AC コンセントに接続してください。

◆ HDD について

HDD は精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。振動・衝撃は HDD 故障の原因となります。HDD に記録された情報内容は、故障や損害の原因にかかわらず、万が一消失しても弊社は補償いたしかねます。

電源を入れたときや電源を切った直後（約 30 秒間）は、HDD が動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。

HDD の寿命は使用環境によりますが、消耗劣化する部品です。通電時間が 20000 時間を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30000 時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。（+25℃で使用時）

大切なデータが壊れないように機器の周辺温度を +25℃程度に保ち、18000 時間を目安に交換することを推奨します。（但し、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません。）

HDD に異常が発生した場合は、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。また、HDD の購入・交換は販売店にご相談ください。

◆ 使用温度範囲

本機の使用温度範囲は +5℃～+40℃です。この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。

※HDD は温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度での使用を推奨します。

◆ 外部記憶装置（外付け HDD と USB メモリー）について

コピーポートで使用できる外部記憶装置は、USB2.0 に対応した外付け HDD と USB メモリーです。

◆ 結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。

以下のような場合は、目安として電源を入れるまで 2 時間程度放置してください。

- ・湿度の高い場所
- ・暖房した直後
- ・冷房されている場所や、温度や湿度の高いところに移動した場合

◆ **使用するモニターについて**

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

◆ **長時間使用しない場合**

機能に支障をきたす場合がありますので 1 週間に 1 回程度、電源を入れて録画・再生を行い、画像を確認してください。

◆ **機器を譲渡・廃棄される場合**

地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合があります。廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合は、取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡等行ってください。

◆ **お手入れについて**

電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。

シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

◆ **録画内容の補償に関する免責事項について**

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができない場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、及び直接・間接の損害に対し、当社は一切の責任を負いません。

また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。

予めご了承ください。

取扱上のお願

設置工事は電気設備技術基準に従って実施ください。本機は屋内専用です。

◆ **以下の場所には設置しないでください**

電源は必ず AC100V 50Hz/60Hz 電源をご使用ください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ・ スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ・ 大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- ・ 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ・ 厨房など蒸気や油分の多い場所
- ・ 傾斜のある場所
- ・ ほこりがたまりやすい場所
- ・ 水滴や水しぶきがかかる場所

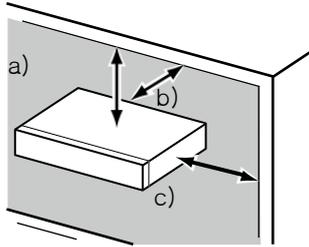
◆ **本機、ケーブルなどが簡易に破壊されるような場所には設置しないでください**

◆ **雑音源は避けてください**

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

◆ **横置き（水平）で設置してください**

本機は傾けて設置しないでください。また、本機の周囲に 5cm 程度の空間を確保してください。



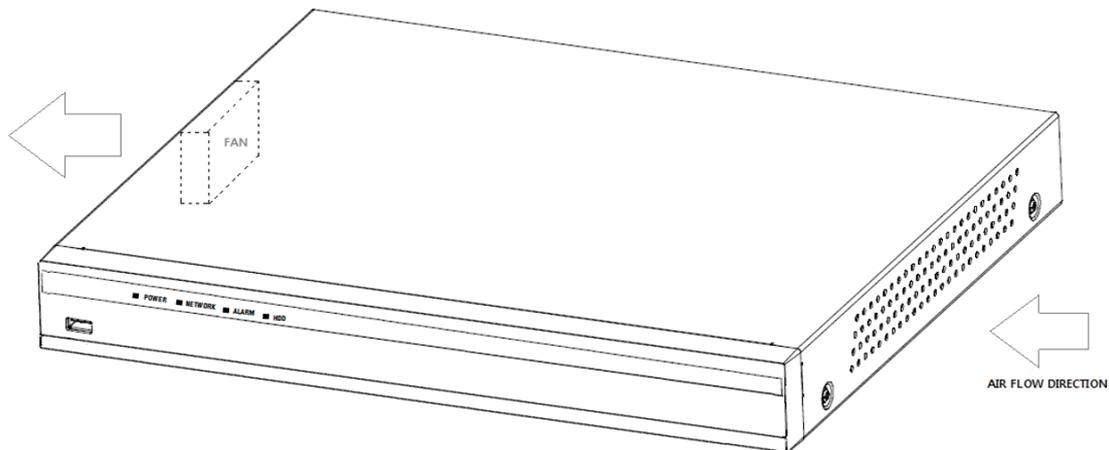
◆ **放熱について**

内部に熱がこもると故障の原因となりますので、以下にご注意ください。

放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。

放熱ファンは消耗品です。約 30000 時間を目安に交換してください。交換は販売店に依頼してください。

機器の側面、上面、後面は壁面から 5cm 程度あけてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部の HDD を冷却していますので、この通風口をふさがないでください。

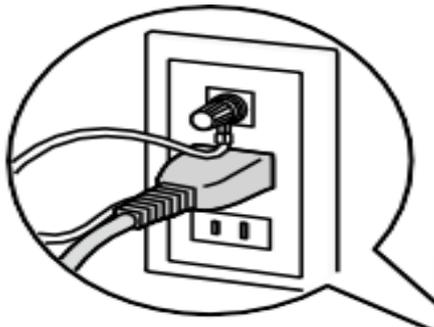


※放熱ファンの数は機種によって異なります。

※放熱ファンを利用し製品の安定性が保てるよう設計された機器なので多少の騒音が発生します。

◆ **アース（接地）について**

ご使用前にアースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。



◆ **電源コードの取り付け方**

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

- ・ 電源制御ユニットを経由して接続する。
- ・ 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- ・ 3.0mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
- ・ ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること

◆ **電源について**

アースは、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に接続してください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してください。

重要

- 機器の名称と電気定格は、定格ラベルに表示されています。
- 本製品を使用する前は、必ず作動テストを行い、正常に作動（記録など）されていることをご確認ください。本製品や記録媒体などの使用中に、万が一これらの不具合により記録されていない場合の情報内容は補償いたしかねますので、ご容赦ください。
- 本製品の動作状態や保証期間内、および保証期間経過後にかかわらず、犯罪・事故等が発生した場合の損害についても、一切の責任を負いかねます。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、一切の責任を負いかねます。
- 本製品内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、それによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

PowerDDNS サービスのご利用の前に (Dynamic Domain Name System)

- ご利用の前に必ず Power DDNS サービス利用規約をお読みください。
- 本サービスの利用手続きにおいて、設定→ネットワーク→DDNS メニューでの「保存」作業を行った時点で本利用規約に同意したことになります。

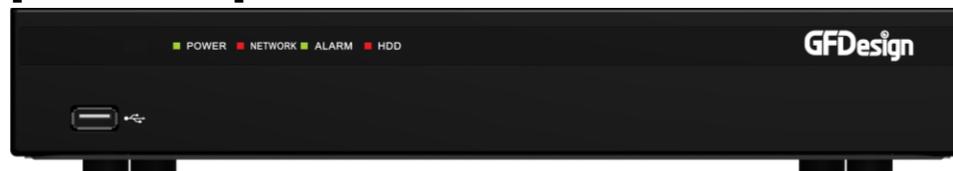
PowerDDNSサービス利用規約

- 弊社は本サービスに関連して発生したいかなる損害について、一切の責任を負いません。本サービスの利用は、ユーザ自身の責任で行ってください。
- 弊社は本サービスについて、事前に通知することなく、いつでもサービスの条件および内容を変更、停止、中止できるものとします。
- ユーザは法的に違反する行為、権利侵害、公序良俗に反する違反などを行わないものとします。
- 弊社がユーザとして不適当と判断した場合や、長期にわたりサービスの利用が見られない場合は、登録データ等の変更、削除を行うことがあります。

ハードウェア説明

概要

[GF NVR0404P]



[GF NVR0808P、GF NVR1616P]



主な仕様

モデル		GF NVR0404P	GF NVR0808P	GF NVR1616P
チャンネル		4ch	8ch	16ch
システム	オペレーティングシステム	Embedded Linux フラッシュメモリー内蔵		
	操作方法	マウス、ネットワーク		
ビデオ	規格	NTSC		
	映像入力	4 IP	8 IP	16 IP
	映像出力	1HDMI、1VGA		
音声	音声入力	IP カメラストリームによる、1RCA		
	音声出力	1HDMI、1RCA		
映像録画	圧縮方式	H.265、H.264、JPEG		
	録画速度	7.5fps/ch (4K)、30fps/ch (2MP)		
	解像度	4K、4MP、3MP、2MP、960H		
	イベント	センサー、モーション、テキスト		
	ビット伝送速度	512Kbps~5Mbps/ch		
音声録音	圧縮方式	G.711u		
	サンプリングレート	16KHz		
ネットワーク	ネットワーク接続	Ethernet 10/100/1G	2×Ethernet 10/100/1G	
	圧縮伝送方式	H.265、H.264、JPEG		
	伝送速度	10fps(4MP)、20fps(2MP)		
	解像度	4K、4MP、3MP、1080P、720P、960H、D1、2CIF、CIF		
バックアップ	接続方式	2×USB 2.0	1×USB 3.0、2×USB 2.0	
	フォーマット	ビデオ(RMS 形式 : バックアッププレーヤー付き)、 JPEG Still イメージ、ログリスト、セットアップデータ		

モデル		GF NVR0404P	GF NVR0808P	GF NVR1616P
アラーム保持	プリ/ポストアラーム時間	5 秒/5 秒～5 分		
	アラームアクション	ブザー、PTZ プリセット、電子メール、リレー、イベントポップアップ、FTP、プッシュ		
	入力/出力	4/1	8/1	16/1
ディスプレイ	HDMI	UHD、QHD、FHD、SXGA、XGA		
	VGA	QHD、FHD、SXGA、XGA		
	分割画面	16/9/4/1/SEQ - ライブ、16/9/4/1-PB		
外部インタフェース	PTZ/キーボード	1xRS48 (端子ブロック)		
ストレージ	内蔵デバイス	1HDD	2 HDD, 1 eSATA	
その他	DDNS、DHCP、UPNP	対応		
	CMS、RMS	Windows10		
	スマートフォンビューアー	Android、IOS (iPhone、iPad)		
	Macビューアー	Apple Mac OS		
電源等	PoE	4PoE	8PoE	16poE
		IEEE 802.3at(30W)		
	アダプター	DC 48V 1.5A	DC 48V 2.5A	AC 100 ~ 240V
	最大消費電力	72 Watts	120 Watts	180 Watts
	寸法	300×215.2×53.2 mm	378×323.99×51 mm	378×323.5×51 mm

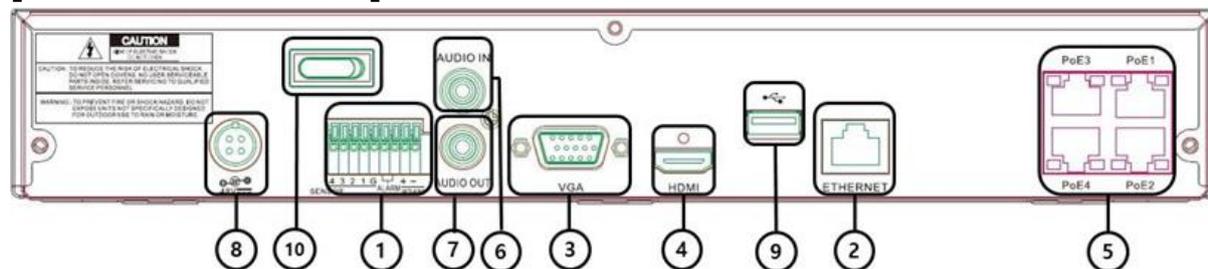
同梱品

装置の構成品は以下の通りです。不足品や破損品があった場合は、お買い上げになった販売店までお申し出ください。

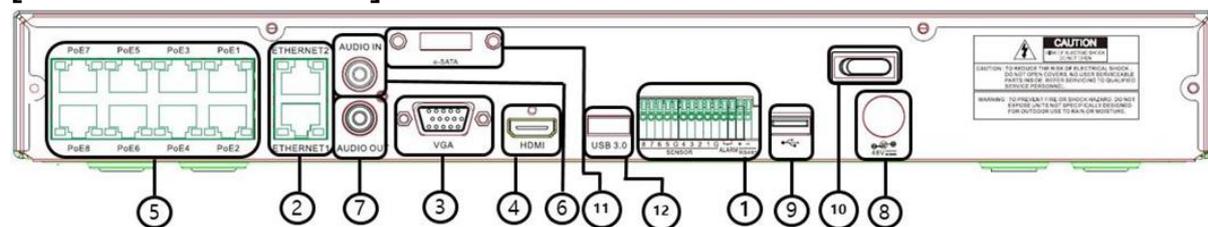
- マウス
- アダプター
- CD(ユーザーマニュアル、NETUS-Pro、NETUS-Pro マニュアル)
- 簡易説明書
- ユーザーマニュアル
- 機器説明書
- ネジ(8ch/16ch 製品 - HDD 固定用)

各部の名称と機能

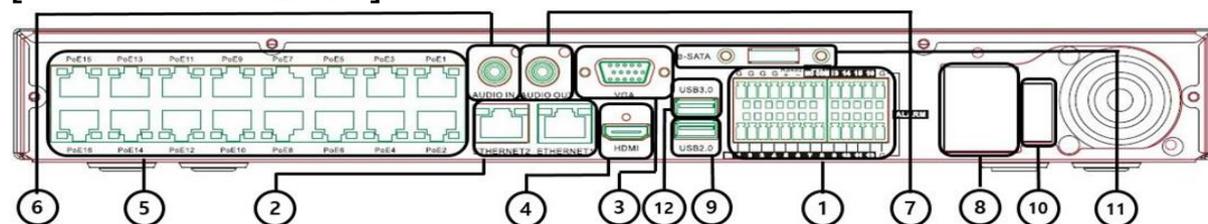
[GF NVR0404P 背面パネル]



[GF NVR0808P 背面パネル]



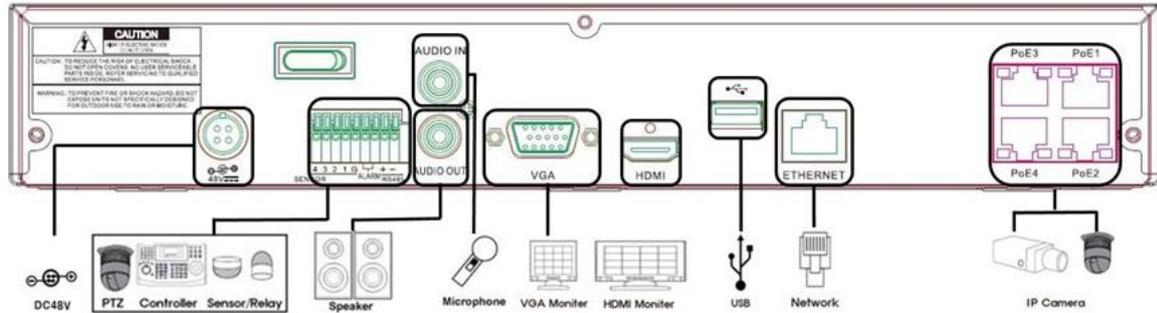
[GF NVR1616P 背面パネル]



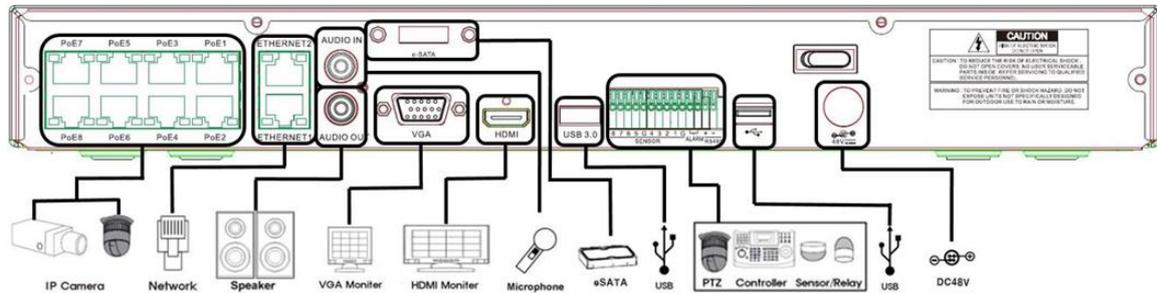
番号	名称	特徴	タイプ
1	端子ブロック	RS-485、センサーイン、リレーアウト	端子ブロック
2	イーサネット	Ethernet 10/100/1G Base-T Ethernet1 : CLIENT S/W Ethernet2 : IP CAMERA	RJ-45
3	VGA-OUT	VGA モニター、LCD モニター	D-SUB 15P
4	HDMI	HDMI 出力	HDMI
5	PoE Camera	PoE IP Camera 入力	RJ-45
6	AUDIO IN	オーディオ入力	RCA
7	AUDIO OUT	オーディオ出力 (Line Only 出力)	RCA
8	電源	4ch : 48V 1.5A、8ch : 48V 2.5A 16ch : AC100~240V	DC Inlet AC Inlet
9	USB ポート	USB 2.0	USB
10	電源 SWITCH	電源スイッチ	スイッチ
11	E-SATA	8/16ch	SATA
12	USB ポート	USB3.0	USB

設置と接続

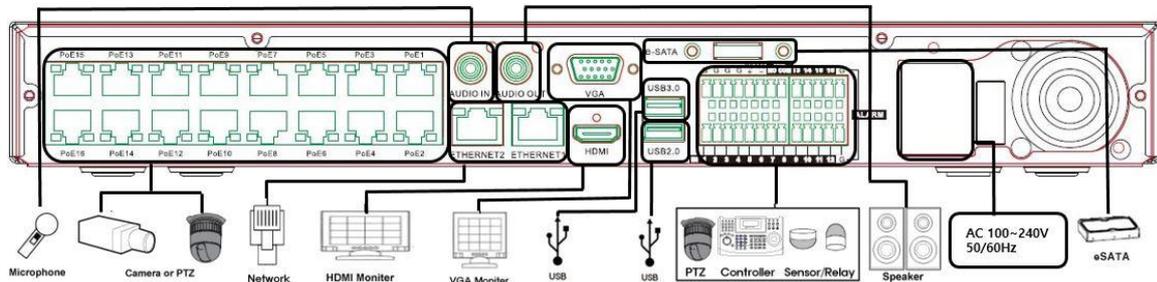
[GF NVR0404P 機器接続]



[GF NVR0808P 機器接続]



[GF NVR0808P 機器接続]



電源ケーブル接続

同梱電源ケーブルとアダプターを接続し、機器裏側の電源ソケットに挿入してください。

周辺機器接続

以下のように PTZ 制御用線、オーディオ入力/出力、ネットワーク、センサーなどを繋げます。

	接続機器	NVR 端子
1	スピーカー	出力端子
2	LAN ケーブル	背面パネルイーサネット
3	PTZ カメラ制御用線	背面パネル端子ブロック
4	センサー/リレー	背面パネル端子ブロック
5	キーボードコントローラ	背面パネル端子ブロック

*本機器はモデル別に以下のような機能差がありますのでご注意ください。

型番	GF NVR04	GF NVR08	GF NVR16
オーディオ	1		
センサー	4	8	16
リレー	1		

●オーディオ I / O

入力(RCA) / 出力 (RCA、HDMI)

●端子ブロック

背面パネル端子ブロックは PTZ/センサー/リレーなどを接続するための端子です。

モデルによってサポート PTZ/センサー/リレーの数が異なります。

1)PTZ カメラ/キーボードコントローラ

PTZ カメラは PTZ カメラの制御用ケーブル TRX+、TRX-、GND を DVR 背面パネルの端子ブロック

(TB1) 端子の 4 番 TRXD+、5 番 TRXD-、6 番 GND に直接接続してください。対応する PTZ カメラは、このマニュアルの別紙（推奨する PTZ カメラのプロトコル）を参照してください。キーボードコントローラも PTZ カメラと同様に接続してください。

*GND が接続されていない場合には、PTZ カメラが正常動作できない可能性があります。

2)センサー/リレー

センサー/リレー端子をモデルによって端子ブロック端子に直接接続します。

センサーとリレータイプ

NC (Normal Close) / NO (Normal Open)

3)センサー接続

センサー端子を端子ブロックの S1～S4 端子に接続します。

それぞれの入力端子は、チャンネル番号に関係なく接続可です。

4)リレー接続

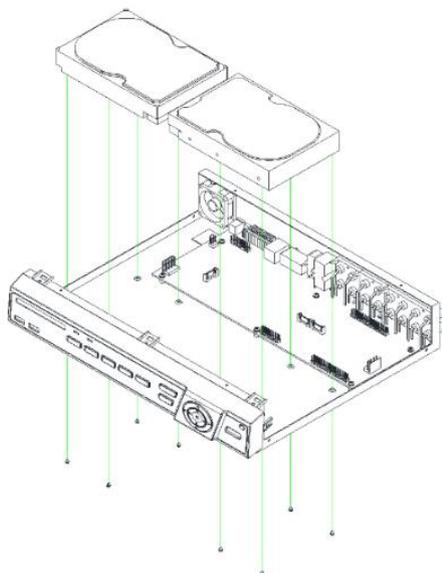
警告灯、サイレンなどの外部警報装置に使用します。

リレー端子を端子ブロックの ALARM 端子に接続します。

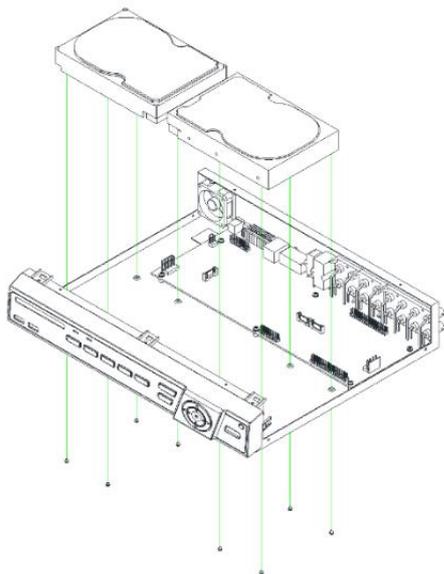
*外部警報装置の種類によって、外部警報装置に電力を供給しないと動作しない場合があります。

HDD 設置

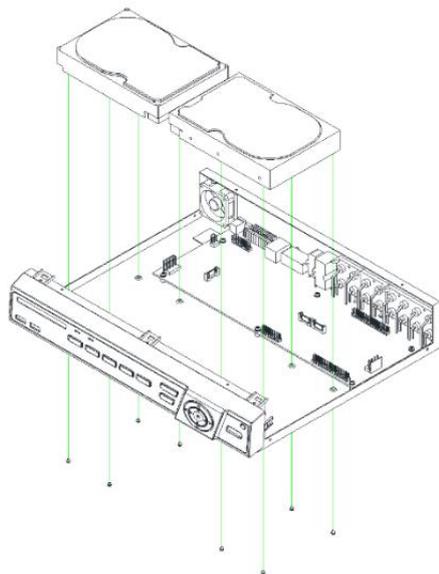
[GF NVR0404P の HDD 設置]



[GF NVR0808P の HDD 設置]



[GF NVR1616P の HDD 設置]



本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社は一切責任を負いません。本装置を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

機器設定マニュアル

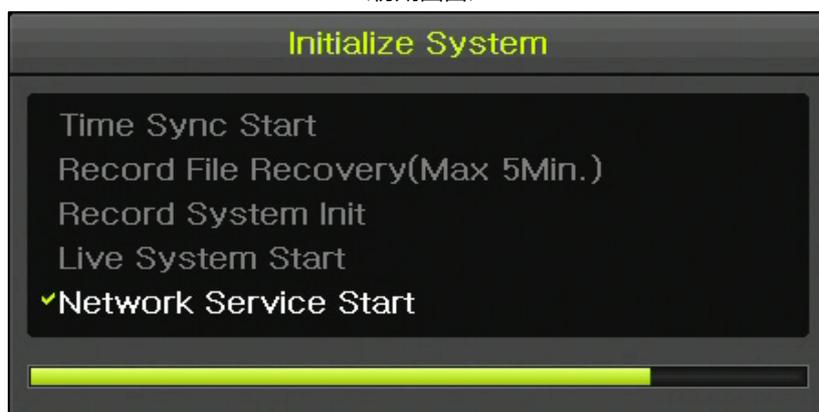
1. NVR動作設定

1-1 電源オン

- ① 電源ケーブルをコンセントにつなぎます。
- ② 電源供給時に自動的に起動します。
- ③ 起動画面表示後、ライブ画面が表示されます。



<初期画面>



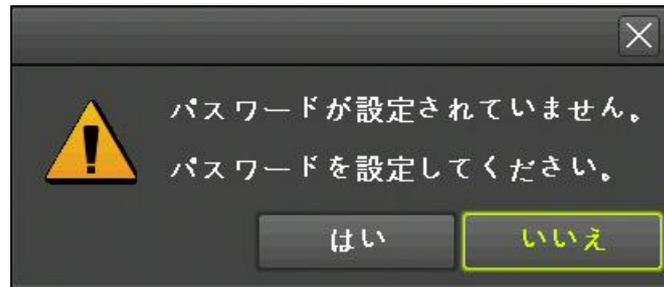
<起動中>

- ④ マウスの右ボタンを押すと、メニューが表示されます。



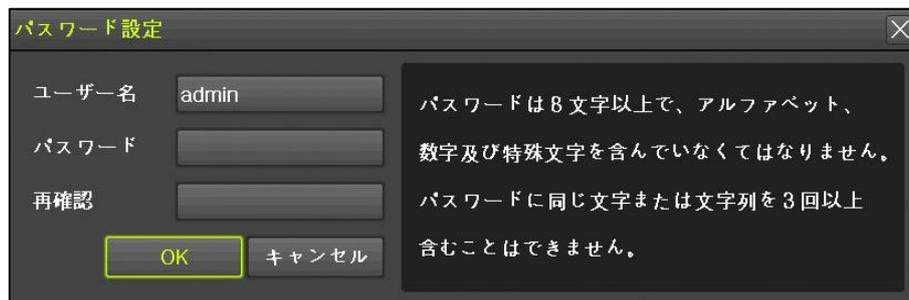
[図 1-1. メニュー]

- ⑤ “設定”ボタンをクリックし、以下のメッセージ画面から“はい”を選択しパスワードを設定ください。



[図 1-2. 初期メッセージ]

- ⑥ 以下のようなログイン画面からパスワードを設定してください。



[図 1-3. パスワード設定]

*) パスワードは8文字以上、英字、数字、記号を含めてください。連続した3文字以上の文字は使用できません。

例 : 123 345 abc ABC 等

※ パスワードは[メニュー]→[設定]→[システム]→[3.ユーザー設定]→[ユーザー変更]
→[ユーザー選択]→[パスワード]で変更出来ます。

1-2 ストレージ設定

[メニュー]→[設定]→[ストレージ]でHDDを設定します。(録画専用 / バックアップ専用)



[図 1-4. ストレージ選択]

1-3 録画設定

[メニュー]→[設定]→[録画]を選択します。

録画解像度、連続録画、イベント録画、音声検知の設定が可能です。



[図 1-5. 録画設定]

1-4 日付/時間設定

① [メニュー]→[設定]→[時間]を選択します。

② 時間同期、日時、タイムゾーン、自動再起動の設定が可能です。



[図 1-6. 日時設定]

1-5 ディスプレイ設定&その他設定

[メニュー]→[その他]→[ディスプレイ設定]で設定します。



[図 1-7. ディスプレイ設定]

1-6 検索

- ① タイムインデックス/イベント/マルチモード/チャンネルを指定し、映像検索が可能です。
- ② 詳しい内容は[2-6 検索]、[2-7 再生]、[2-8 ログビューアー]を参照ください。

1-7 バックアップ

- ① バックアップはライブ、検索、ログ、再生モードで使用できます。
- ② [2-10-5 バックアップ画面(共通)]を参照ください。



[図 1-8. バックアップ設定]

1-8 NVR情報確認

[メニュー]→[その他]→[NVR情報]を選択し、NVR情報を確認できます。

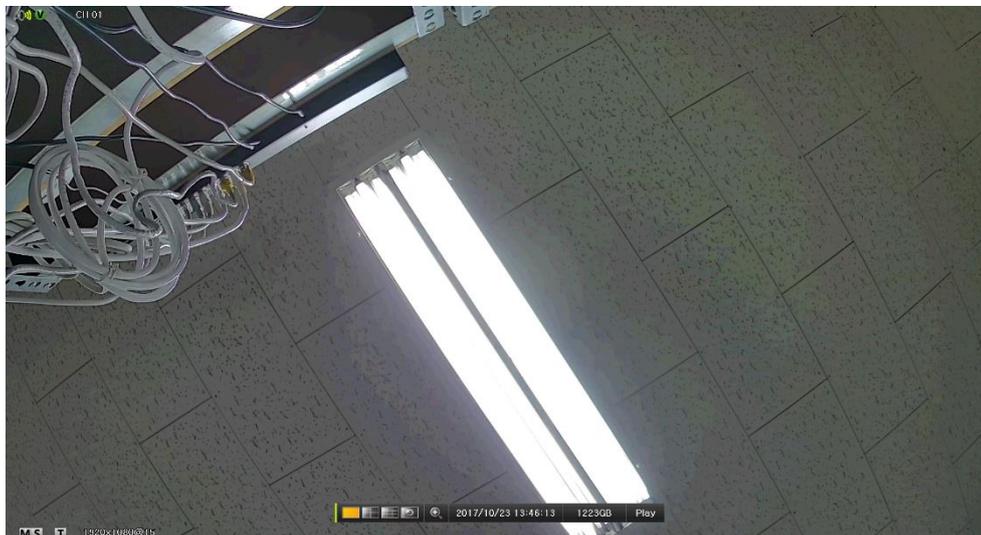


[図 1-9. NVR情報]

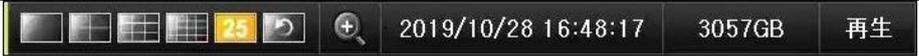
2. システム運用

2-1 ライブモード&アイコン

[録画状態、チャンネル分割、カメラ接続状態、時間、HDD状態]が表示されます。



[図 2-1. 録画状態]

※ 録画イベント/ 録画モード表示 ※		
録画イベント	M	モーション録画中の状態を表示
	A	センサー録画中の状態を表示
	S	音声記録中の状態を表示
	T	テキスト(文字)録画中の状態を表示
録画モード	V	画像の録画中の状態を表示
	A	音声の記録中の状態を表示
※ ライブ画面アイコン ※		
	カメラが接続されていないCH & 非表示設定CH	
ビデオロス	カメラと接続されていない状態	
※ コントロールバー ※		
		
①	②	③
④	⑤	⑥
① フル画面/4分割/9分割/16分割表示（種類は機種による）		
② カメラ順次切替		
③ ズーム		
④ 日付/時間		
⑤ HDD状態		
⑥ 再生←→LIVE切替		

2-2 システムログイン

2-2-1 ユーザー&権限設定

使用者はシステム管理者(admin)と一般ユーザー(user)に分けられ、システム管理者(admin)は基本的に全ての機能を使用することができます。

システム管理者 (admin:デフォルト)	システム電源オン/オフ、設定、監視、再生など、すべての機能に対する使用権限が与えられます。
追加ユーザー	各ユーザーに対し権限の設定によって、システム機能に対する使用権限が与えられません。権限の設定は、[メニュー]→[設定]→[システム]→[ユーザー追加]で行います。

※ 権限設定可能機能 ※	
ユーザー名 / パスワード	管理者ID / パスワード設定(adminアカウントはID変更不可能)
ネットワークライブ	ネットワーク接続ライブ画面を表示
再生	録画された画像を再生
バックアップ	録画データ、ログバックアップ
設定	各種設定
PTZ	PTZカメラコントロール
リモートアップグレード	ネットワーク接続遠隔アップグレード
パスワード	パスワードを使用有無を設定 ※チェックを解除する場合、パスワード無しで本体・ネットワークログイン可能になるため、ご注意ください。
チャンネル使用(ユーザー)	各チャンネル別権限設定

2-2-2 ログイン



[図 2-2. ログイン画面]

- ① ライブ画面で右クリック [メニュー] → [ログイン] でユーザーを選択します。
- ② パスワード入力後、OKを押します。

2-2-3 ログアウト

ログアウトはメニューのログアウトを押します。ログアウト状態では [メニュー] の一部機能は使用できません。

2-3 その他

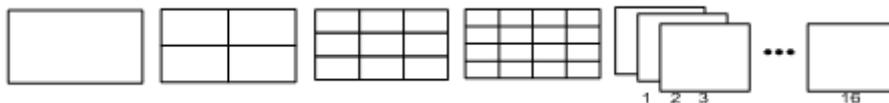
以下の表示機能を使用できます。

- 1 / 4 / 9 / 16 分割表示（種類は機種による） & カメラ順次切替
- チャンネルグループ設定
- ズーム
- ライブイベント表示機能
- PTZを利用した画面コントロール機能

2-3-1 分割画面 & カメラ順次切替画面

1-16分割表示 - 基本モード

カメラ順次切替モード - 特殊モード



[図 2-3. 16チャンネルモード]

※ 基本モード時、該当モードボタンを順次押すと以下のように画面が切り替えられます。

1画面表示 (16グループ)																	
16分割表示 (1グループ)	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	2	3	4														
5	6	7	8														
9	10	11	12														
13	14	15	16														

※ 16分割表示で全画面表示したい映像にマウスのカーソルを移動し、ダブルクリックすると、その映像の全体が表示されます。再度ダブルクリックすると、前の分割表示に戻ります。

※ **カメラ順次切替**
基本モードと特殊モードにおいて、一定時間間隔で映像を順次表示する機能です。
ビデオレコーダーがサポート可能な最大チャンネル分割表示では、この機能を使えません。

① [メニュー]→[その他]→[ディスプレイ設定]で映像が変わる映像維持時間選択（1～10 秒）

② 基本モード1分割表示でカメラ順次切替

1チャンネルモードシーケンス

(*ただし、カメラが1台しか接続されていない場合は設定不可)

2-3-2 ズーム

ズーム機能はライブビューモードで特定のチャンネルを1画面表示モードにした映像を拡大/縮小するための機能です。



[図 2-3. コントロールバー]

- ① ズーム機能は[メニュー]→[ズーム]あるいはライブビューモードの制御バーの虫眼鏡のアイコンをクリックすると移動します。
- ② チャンネルを選択すると1画面表示モードに切り替えられ、右下にコントロール映像が表示されます。



[図 2-4. ズームコントロール画面]

- ③ マウスを右下のコントロール映像の拡大したい部分に移動した後、ダブルクリックします。
- ④ ダブルクリックをすると1倍、2倍、4倍、16倍の4段階のモードが表示できます。
これらの4ステップモードは、マウスのホイールを下/上方向に動かして表示することもできます。また、2倍以上のモードで黄色のボックスをマウスの左ボタンでクリックしたままドラッグすると拡大された画像のフォーカスを移動することができます。

2-3-3 PTZを利用した画面コントロール機能

接続されたPTZカメラを利用してライブビューができる機能です。PTZカメラがシステムに接続されていなければなりません。

[メニュー]→[設定]→[カメラ]→[PTZ]を選択します。

- ① PTZ 設定画面で「プロトコル、カメラ ID、ボーレート、アドレス、停止時間、ツアー」を設定します。



[図 2-5. PTZ設定]

- ※ ボーレートは「2400/4800/9600/19200/38400」から選択できます。
- ※ 停止時間は「5秒/10秒/15秒/20秒/5-60（ユーザー設定）」から選択できます。
- ※ ツアーは「ツアー-1/ツアー-2」のいずれかを指定し、それぞれ「8こ」までプリセットで設定ができます。
- ※ **PTZを支援するIPCAMは、プロトコルが自動的に「IPカメラ」に設定されます。**



※支援するプロトコルは、別紙の推奨するPTZカメラのプロトコルを参照してください。

- ② 「メニュー」 → [PTZ]を選択してPTZ制御をします。



[図 2-6. PTZ]



[図 2-7. PTZコントロール]



PTZでは最小と最大2つの機能を使用できます。速度はカメラメーカーの最大設定値によって差があります。ツアーは「ツアー-1、ツアー-2」を選択できます。プリセットは1-255まで設定ができて、ホーム復帰時間は「1分、5分、10分、ユーザー設定(1-60)」から設定できます。

	<p>プリセットとは？ PTZカメラで「左右、上下、ズーム、焦点」など特定ポイントを座標として記憶させて置くことで手でPTZカメラを操作せず、設定したポイントに移動できる機能です。</p>
	<p>ホームポジション復帰時間とは？ PTZ を制御して一定時間の間、何の操作も行われな場合に自動的に PTZ のプリセット 1 番が選択される機能です。ホームポジション復帰機能の代わりにプリセット「1 番」ボタンを使用することも可能です。</p>

2-4 製品情報表示&画面設定変更

2-4-1 製品情報

[メニュー]→[その他]→[NVR情報]を選択すると、以下のようなメニューが表示されます。

※ [図1-9. NVR情報]を参照

2-4-2 ディスプレイ設定

[メニュー]→[その他]→[ディスプレイ設定]でディスプレイ設定の機能が使用できます。

カメラ名称、コントロールバー、ボタン音、HD周波数、モニター解像度、境界線、スクリーンセーバー、メインシーケンスの設定が使用できます。



[図 2-8. ディスプレイ設定画面]

2-4-3 スクリーンセーバー

[メニュー]→[その他]→[ディスプレイ設定]→[スクリーンセーバー]でスクリーンセーバーを設定できます。

表示	説明
有効	オン/オフの設定
動作	繰り返し周期の設定
継続	開始時刻の設定（繰り返し周期時間が24時間の場合は無効）
待機	設定された待機時間内に何の操作もない場合、スクリーンセーバーが動作する



[図 2-9. スクリーンセーバー設定画面]

2-5 制御

[メニュー]→[その他]→[その他のコントロール]で各種制御機能が使用できます。

このタブでは「音声出力、リレー、テキスト」の機能を設定できます。



[図 2-10. 音声]



[図 2-11. リレー]



[図 2-12. テキスト]

2-6 検索

2-6-1 検索モード

[メニュー]→[検索]で各種検索メニューを選択できます。



2-6-2 カレンダー検索

[メニュー]→[検索]→「カレンダー検索」を選択します。

ユーザーは「日付、時間、マルチモード、イベント」を指定して検索や再生機能を使用できます。



[図 2-13. 検索メニュー画面]

イベント	「全て、モーション、センサー、音声、テキスト」を選択してイベントごとに検索する機能
マルチモード	マルチチャンネル：特定の時間に対して異なるチャンネルの録画映像を同時に再生する機能
	マルチ時間：特定のチャンネルに対して異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能
	マルチ日：特定のチャンネルに対して異なる日の録画映像を同時に再生する機能
チャンネル	マルチモードではマルチ時間/マルチ日を選択時に特定のチャンネルを選択することが可能

2-6-3 日時指定再生

検索したい日付と時間を検索することができます。



[図 2-14. 時間検索画面]

2-6-4 最後から再生

「最後から再生」モードでは、最近(現在基準で約5分前)に録画された映像を再生します。

2-6-5 最初から再生

「最初から再生」モードでは、ストレージ(HDD)に最初に録画された映像を再生します。

2-6-6 前回の続きから再生

「前回の続きから再生」モードでは、前回再生した続きから再生します。

2-7 再生

ストレージ(HDD)に録画されている映像を次の8つの方法で再生することができます。

カレンダー検索で再生	「メニュー」→「検索」→「カレンダー検索」で入力項目を設定後、「再生」を選択する
日時指定再生	「メニュー」→「検索」→「日時指定再生」で日時を設定後、「再生」を選択する
最後から検索での再生	「メニュー」→「検索」→「最後から」を選択する
最初から検索での再生	「メニュー」→「検索」→「最初から」を選択する
前回の続きから検索での再生	「メニュー」→「検索」→「前回の続きから」を選択する
POS検索での再生	「メニュー」→「検索」→「POS検索」で入力項目を設定後、「再生」を選択する
ログ検索での再生	「メニュー」→「その他」→「ログビューアー」でログを検索し、ログリストを選択してから「再生」を選択、又はログリストをダブルクリックするとログが記録された時間帯で再生する
コントロールバーでの再生	コントロールバー「再生」を選択します。現在基準の約5分前の映像を再生する

2-7-1 再生と再生速度調整

- ① 再生モードでは、各ボタンの機能に応じて映像を再生します。
- ② 最後の録画データまで再生した場合、次の時間の録画データを自動的に検索して再生します。
(マルチチャンネル再生機能のみ可能であり、再生、逆再生の両方可能です。)
- ③ 再生モードでのボタン説明は下記の表をご参照ください。



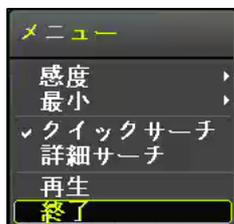
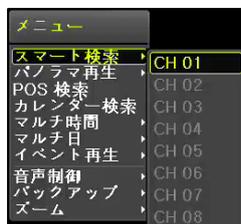
[図 2-15.再生状態とコントロールバー]

検索ボタンの説明		
	チャンネルモード変更	チャンネルモードを変更します。
	ズームモードの変更	ズームモードに変更します。
	再生/速度調整	ボタン1回クリック - 再生速度 (x 1) ボタン2回クリック - 再生速度 (x 2) ボタン3回クリック - 再生速度 (x 4) ボタン4回クリック - 再生速度 (x 8) ボタン5回クリック - 再生速度 (x 16) ボタン6回クリック - 再生速度 (x 32) ボタン7回クリック - 再生速度 (x 300) もう一度クリックすると(x1)の速度からに戻ります。
	フレーム単位の再生	1フレームずつ再生 映像を一時停止
	止め	映像を一時停止
	フレーム単位の逆再生	1フレームずつ逆再生 映像を一時停止
	逆再生/ 逆再生の速度調整	ボタン1回クリック - 逆再生速度 (x 1) ボタン2回クリック - 逆再生速度 (x 2) ボタン3回クリック - 逆再生速度 (x 4) ボタン4回クリック - 逆再生速度 (x 8) ボタン5回クリック - 逆再生速度 (x 16) ボタン6回クリック - 逆再生速度 (x 32) ボタン7回クリック - 逆再生速度 (x 300) もう一度クリックすると (x1) の速度からに戻ります。
	ライブボタン	再生モードを終了し、ライブモードに移動。
		ステータスバー時間単位の映像保存データ情報と倍速情報を表示します。

2-7-2 スマート検索

モーションが検知された映像をすばやく検索する機能です。チャンネルごとに検索できます。

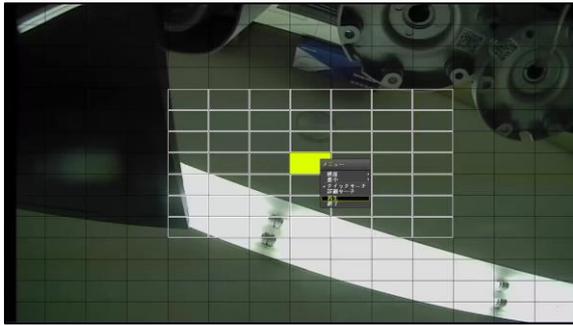
再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「スマート検索」→「チャンネル」を選択します。



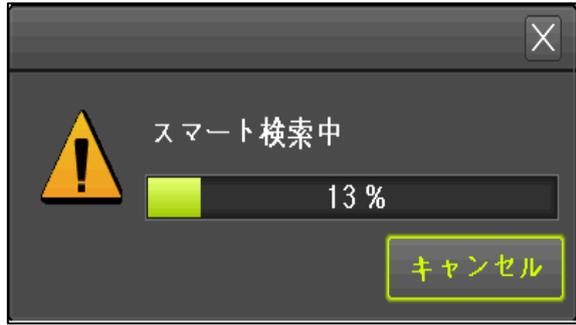
種類	内容
感度	最低/低/中/高/最高、5段階の動きの感度。
最小	1-10までのピクセルモザイク。ピクセル数の調整。
クイックサーチ	NTSCモードの場合、30フレーム単位で検索。 PALモードの場合、25フレーム単位で検索。
詳細サーチ	すべてのフレームを検索。

<再生モードメニュー> <スマート検索メニュー>

- ① スマート検索を選択し、検索するチャンネルを選択します。
- ② フル画面モードに変更した後、検索する領域を選択します。
- ③ 14×15ピクセル単位のモザイク画面が表示されます。
- ④ 検索した領域を選択します。(領域を選択すると白色枠で表示されます。)
- ⑤ 領域の選択が終わりましたら、再生を選択します。 ※検索には時間がかかります。



【図 2-16. スマート検索領域指定画面】



【図 2-17. スマート検索中の画面】

2-7-3 パノラマ再生

パノラマ再生は特定のチャンネルの録画映像をフレーム単位で分割画面モード再生する機能です。

再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「パノラマ再生」→「チャンネル」を選択します。

コントロールバーの分割画面アイコンを選択してモードを変更できます。 ※機種によってフレーム数が異なります。

2-7-4 カレンダー検索

「日付、時間、マルチモード、イベント」を指定して再生する機能です。

ライブモードで「メニュー」→「検索」→「カレンダー検索」もしくは再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「カレンダー検索」を選択します。 ※詳しい内容は「2-6-2 カレンダー検索」をご参照ください。

2-7-5 マルチ時間

特定チャンネルに対して異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能です。並び順は降順(新しい順)です。

再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「マルチ時間」→「チャンネル」を選択します。

2-7-6 マルチ日

特定チャンネルに対して異なる日付の録画映像を同時に再生する機能です。並び順は降順(新しい順)です。

再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「マルチ日」→「チャンネル」を選択します。

2-7-7 イベント再生

録画データで特定のイベント「全て、モーション、センサー、音声、テキスト」を検索して再生する機能です。

再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「イベント再生」→「イベント」を選択します。

2-7-8 バックアップ

USBメモリーなどのストレージデバイスを挿入した後、再生モードで「マウス右クリック」→「メニュー」→「バックアップ」→「バックアップ」もしくは「スナップショット」を選択します。

- ・バックアップ：保存された映像データを外部記憶装置に保存します。
- ・スナップショット：現在再生または停止状態の画面をキャプチャーして保存します。

※詳しい内容は「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。

2-7-9 画面モード

再生モードでもライブビューモードと同様に画面を分割することができます。

最大対応チャンネルによって選択することができ、マウスで画面モードを選択します。



【図 2-18. コントロールバー】

2-8 ログビューアー

NVRシステムの電源「オン、オフ」、システム設定、ネットワーク「接続、解除」など、システム動作ログ情報を検索します。

「全て、エラー、通信、録画、ノーマル」5種類に分けて検索できます。

「メニュー」→「その他」→「ログビューアー」を選択します。※ログは「日単位」のみ検索が可能です。



[図 2-19. ログの表示]

ログビューアー各機能の説明及びログタイプ	
ログ検索	カレンダーに「緑色の✔」が表示されている部分が検索対象になります。 検索対象の日付をダブルクリックします。
詳細情報	ログの詳細情報「ページ、日時、イベント内容、使用者」などの情報が表示されます。
並び順	検索されたログリストを「右クリック」するとメニューが表示されます。 時間を設定するとログリストが降順「新しい順」に並び替えられます。
ログ削除	削除する日付を選択してから「ログ削除」を選択します。 ※ログを検索している状態では削除できません。選択した日付のログを全て削除しますので、ご注意ください。
ログ保存	ログデータを USB メモリーなどに保存する機能です。保存するログを検索した後、「ログ保存」を選択します。 ※「タイムインデックス」欄でも日付変更できます。
再生	ログが発生した時点の映像を再生します。リストからログを選んで「再生」を選択します。
終了	ログビューアー画面を閉じます。
全て	下記全てのログ
エラー	ビデオロス、ネットワーク接続失敗など、システム動作異常に関するログ
通信	ネットワーク「ログイン、ログアウト」、ネットワークライブなどネットワークに関するログ
録画	「モーション、センサー検知」など録画イベントに関するログ
ノーマル	電源「オン、オフ」、バックアップ、設定変更、再生など基本動作に関するログ

2-9 録画

2-9-1 録画方式

以下の表のように録画方式を選択できます。

録画方式	説明
連続	設定されたフレーム数に応じて、常に録画をします。
動作	映像のモーションイベントが検出された場合、録画をします。
センサー	外部センサーから入力信号が発生した場合、録画をします。

2-9-2 録画設定

録画設定は、[メニュー]→[設定]→[録画]→[録画]で可能です。

2-10 バックアップ

USB2.0メモリー、外付けHDD、CD、DVDなどのストレージデバイスがUSB2.0ポートに接続されていなければなりません。バックアップは「ライブモード、検索モード、ログ、再生モード」で実行できます。



※ NTFSファイルシステムのUSBを使用する場合、Windowsで「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」をした後にDVR装置で使用してください。
上記の手順を利用しない場合はUSBメモリーの破損の恐れがあります。

2-10-1 ライブビューモードのバックアップ

- ① 「メニュー」→「バックアップ」→「バックアップ」でバックアップ機能が使用できます。
- ② バックアップの開始時間は5分前の時間に設定されています。
- ③ バックアップするチャンネルは指定時間にデータが存在する全てのチャンネルまたは分割表示に応じてチャンネルのみを選択することもできます。
- ④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



[図2-20. ライブビューモードのバックアップ]

2-10-2 検索モードでのバックアップ

- ① 「メニュー」→「検索」→「カレンダー検索」を選択します。
- ② 開始時間は検索モードで選択された「年、月、日、時、分」に設定されます。
終了時間は選択した時間に記録されたデータの最後の「分/秒」まで設定されます。
- ③ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
- ④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



[図 2-21. 検索モードバックアップ]

2-10-3 ログモードでのバックアップ

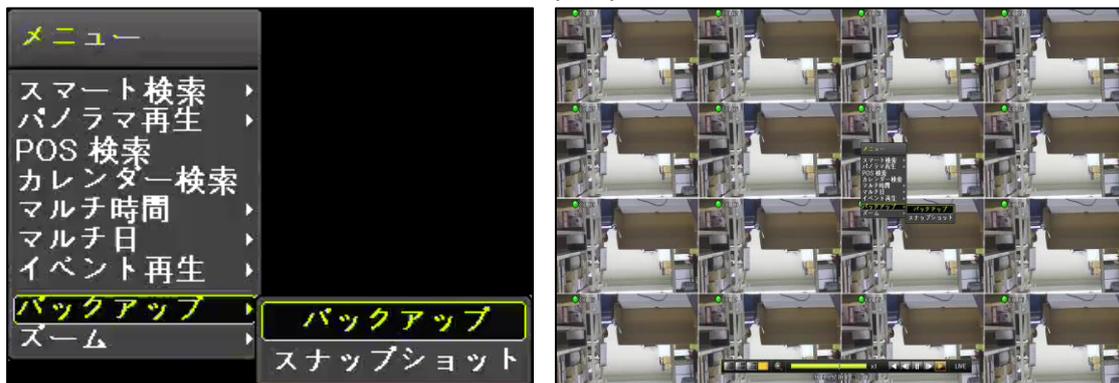
- ① 「メニュー」→「その他」→「ログビューアー」を選択します。
- ② 「日付選択」→「ログリスト選択」→「再生」を選択します。
- ③ 画面が再生モードに切り替わり、バックアップメニューを選択出来るようになります。
- ④ 再生モードで「右クリック」→「メニュー」→「バックアップ」→「バックアップ」を選択します。
詳細内容は「2-10-4 再生モードでのバックアップ」をご参照ください。
- ⑤ 開始時間は選択したログが発生した時間から5分前の時間に設定されます。
終了時間は選択したログが発生した時間に設定されます。
- ⑥ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
特定のチャンネルに対して発生したログであれば、そのチャンネルのみ選択されます。
- ⑦ 以降のプロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください。



[図 2-22. ログビューアーでのバックアップ]

2-10-4 再生モードでのバックアップ

- ① 再生モードで「右クリック」→「メニュー」→「バックアップ」→「バックアップ」を選択します。
※ 再生モードを表示させる方法は「2-7 再生」をご参照ください。
- ② 開始時間はバックアップを選択した時間の5分前に設定されます。
終了時間はバックアップを選択した時間に設定されます。
- ③ バックアップするチャンネルはバックアップする時間に記録されたデータ全てのチャンネルが選択されます。
分割表示に応じて閲覧中のチャンネルのみ選択することも可能です。
- ④ 以降のバックアッププロセスは「2-10-5 バックアップ(共通)」をご参照ください



[図 2-23. 再生モードのバックアップ]

2-10-5 バックアップ (共通)

- ① バックアップするためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
- ② デバイスが認識されるとデバイスを選択します。
- ③ バックアップする録画データの「開始時間、終了時間(年、月、日、時、分、秒)」を設定します。
- ④ フォルダー名はユーザー任意で変更可能です。 ※初期値に関して以下の表をご参照ください。
- ⑤ バックアップするチャンネルを選択して「開始」を選択するとバックアップが開始されます。



バックアップ説明	
デバイス	装置に接続されているデバイスリスト及びデバイス情報
空き容量	選択されたデバイスの空き容量
合計容量	選択されたデバイスの合計容量
データ量	バックアップするデータの量(自動的に計算されます。)
ファイル形式	バックアップするデータの保存形式「AVI、RMS」
フォルダー名	<p>20191128093601_20191128094101_04</p> <p>① ② ③</p> <p>① バックアップ開始時間「年、月、日、時、分、秒」 ② バックアップ終了時間「年、月、日、時、分、秒」 ③ バックアップするデバイス内のフォルダー数に応じて作成 ※ フォルダー名はユーザー任意で変更可能</p>
タイムインデックス	バックアップするデータの「開始時間、終了時間」を設定
チャンネル	バックアップするチャンネルを選択
進行状況	バックアップ開始時に進行状況を「%」で表示

2-11 設定データ保存及び設定データアップグレード

現在、装置に設定されている全ての設定値を保存する機能です。

この機能を使用して装置の設定値をそのまま他の機器に設定することができます。

- ① 設定データを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
- ② 「メニュー」→「バックアップ」→「設定データ保存」を選択します。
- ③ デバイス情報画面が表示されます。
- ④ デバイスを選択するとそのまま「開始、終了」されます

下記のようなファイル名で保存されます。



H6E04_V1.3.003_20160414_172843.bin

① ② ③ ④

①モデル名 / ②バージョン / ③日付 / ④時刻



- ⑤ 「メニュー」→「設定」→「システム」→「4.アップグレード」→「設定データ」を選択します。
- ⑥ 設定データを選択すると「設定データアップグレード」画面が表示されます。
- ⑦ 該当するファイル名を選択するとアップグレード実行されます。



ファイル名を選択するとそのままアップグレードが実行されますので、ご注意ください。



2-12 ログのバックアップ

機器に保存されたログを保存する機能です。

- ① ログデータを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
- ② 「メニュー」→「バックアップ」→「ログ保存」を選択します。
- ③ 保存するログの「開始日付、終了日付」を設定します。 ※ ログデータは日単位で保存可
- ④ フォルダー名はユーザー任意で変更可能です。 ※ 初期値に関して以下の表をご参照ください。
- ⑤ 保存するログのタイプを選択して「開始」を選択すると保存が開始されます。



バックアップ説明	
デバイス	装置に接続されているデバイスリスト及びデバイス情報
空き容量	選択されたデバイスの空き容量
合計容量	選択されたデバイスの合計容量
データ量	保存するログデータの量(自動的に計算されます。)
フォルダー名	<p>20191128_20191128_05_LOG</p> <p>① ② ③</p> <p>① 保存データの開始日「年、月、日」 ② 保存データの終了日「年、月、日」 ③ 保存するデバイス内のフォルダー数に応じて作成 ※ フォルダー名はユーザー任意で変更可能</p>
タイムインデックス	保存するログデータの「開始日、終了日」を設定
イベント	イベントタイプ
進行状況	バックアップ開始時に進行状況を「%」で表示

2-13 スナップショット

スナップショットは「ライブモード、再生モード、検索モード、ログエントリーモード」で停止された映像をJPGファイルに変換し、バックアップデバイスに保存する機能です。

- ① スナップショットを保存するためのデバイスを装置のUSBポートに挿入します。
- ② 「メニュー」→「バックアップ」→「スナップショット」を選択します。
- ③ デバイス情報画面が表示されます。
- ④ デバイスを選択するとそのまま「開始、終了」されます。



【図 2-24. スナップショット】

2-14 QRコード（ネットワーク情報）

QRコードをモバイル機器でスキャンしてNVRに接続することができる機能です。

QRコードをスキャンすると自動的にレコーダーの情報が入力されます。

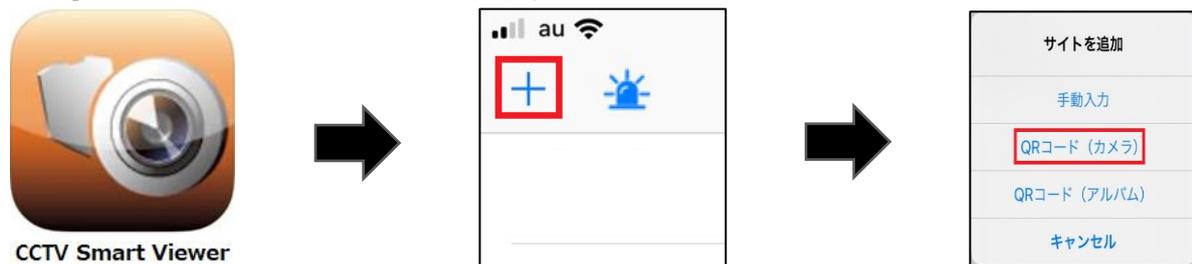
(※セキュリティのためにパスワードは別途入力が必要。)

- ① 「メニュー」→「その他」→「QRコード(ネットワーク情報)」を選択します。



【図 2-25. QR コード】

- ② モバイル機器の「CCTV Smart Viewer」を開きます。



- ③ 「CCTV Smart Viewer」→「サイトを追加(+)」→「QRコード(カメラ)」を選択します。

- ④ カメラでDVRから表示させたQRコードをスキャンします。

- ⑤ 「DDNS、外部IP、内部IP」3種類が表示されますので、いずれか1種類を選択してください。

- ⑥ 情報入力画面に移動すると「サイト名、IP/ホスト、ポート、ユーザー名」が自動的に入力されます。

※「QRコード」のみ自動的にDVR情報が入力されます。

- ⑦ DVRのパスワードを入力します。 ※ セキュリティ保護の為、パスワード自動入力されません。



3. 設定

3-1 時間

※ 機能説明

1. 時間同期

1) NTPサーバーとの同期化

1日「1回、2回、3回、4回、6回、24回」の周期でNTPサーバーと同期化します。(※変更可)

A. 自動設定

ユーザーが設定した地域(Zone)を基準に最も近いサーバーに接続し、接続が不可能な場合は次のリストに移動して再接続を行います。

B. ユーザー設定

ユーザーが直接NTPサーバーのURL、またはIPを設定し接続できなかった場合はすぐにユーザーにメッセージを送りログも残します。NTPサーバーとの同期化が失敗した場合にはRTCと同期します。

2) タイムサーバーとの同期

1日「1回、2回、3回、4回、6回、24回」の周期でNTPと時刻を同期します。NTPは時間の変更、地域(Zone)を変更する場合などは同じネットワークの中で結ばれたNVR間で同期が行われます。

[同期信号はブロードキャスト(Broadcast)にパケットを送り、ルーターあるいはゲートウェイは通過しません。NVRタイムサーバーでは自動接続はありません。]

2. サマータイム設定

NTPは設定された時間によって自動的に処理されます。

3. ユーザー時刻設定

ユーザーが直接時間を設定します。

NTPで設定をするとユーザーは時間を変えることができません。

※ 時間機能の設定は[メニュー]→[設定]→[時間]で設定することができます。



[図 3-1. 時間メニュー]

3-1-1 時刻同期

タイムサーバー、サーバー形態、サーバーのURL機能を設定できます。

「メニュー」→「設定」→「時間」→「時刻同期」を選択します。

時刻同期	オフ	タイムサーバーを使用していません。
	NTP	NTPを使用してNVRの時間を設定します。



[時刻同期]がNTPになっている場合、[NTP]の設定が可能です。

サーバータイプが[NTP]の場合は自動であり、ユーザー設定の時はIPまたはURL設定が使用できます。

3-1-2 日時

(1) 日時



[図 3-2. 日時]



時間同期(NTP)がオフになっている時のみ変更できます。

日時	システムの日付と時間は「年、月、日、時、分、秒」で構成されています。 「年、月、日、時、分、秒」をダブルクリックすると矢印が表示され変更できます。 ※ 手動変更は時間同期(NTP)がオフになっている状態のみ変更できます。
日付表示形式	「日、月、年」、「月、日、年」、「年、月、日」

3-1-3 タイムゾーン

タイムゾーン、サマータイムの設定ができます。

「メニュー」→「設定」→「時間」→「タイムゾーン」を選択します。



[図 3-3. タイムゾーン]

タイムゾーン	日本地域(東京、大阪、札幌)、以外96地域
サマータイム	サマータイム機能を「オン、オフ」します。 「開始時間、終了時間」を設定してください。 ※ 「開始時間」、「終了時間」を週単位で設定するためには日を「メイン」に設定する必要があります。 ※ サマータイム適用後は検索及びログリストから既存のDataは「OLD_」で表現されます。 ※ 日本国内では本機能は使用されませんでの「オフ」状態を推奨します。

3-1-4 自動再起動

自動再起動はシステムを自動で再起動をする機能です。

自動再起動を定期的に行うことでシステムを安定的に運用することができます。

「メニュー」→「設定」→「時間」→「自動再起動」で時間(定刻単位で設定可)設定が可能です。

設定した時刻で「毎日、毎週月曜日~毎週日曜日」曜日単位で再起動周期を設定できます。



[図 3-4. 自動再起動メニュー]

3-2 カメラ



[図 3-5. カメラメニュー]

3-2-1 カメラ

① 接続

各カメラチャンネルに対する接続可否(オン/オフ)が設定できます。



※ 実際にカメラが接続中でもオフに設定された場合は映像は見えません。

② 名称

各カメラチャンネルの名前を設定します。全角50文字、数字50桁まで可能です。

3-2-2 PTZ

PTZカメラのプロトコル、伝送速度などを設定できます。「メニュー」→「設定」→「カメラ」→「PTZ」を選択します。



[図 3-6. PTZ]

3-2-3 PTZ 制御

接続されたカメラのOSD設定を変更することができます。



[図 3-7. PTZ 設定]

※ ONVIFプロトコルを利用してPTZに対応するIPカメラはプロトコル項目が自動的に「IPカメラ」に設定されます。

3-2-4 イベント

[メニュー]→[設定]→[カメラ]→[イベント]を選択します。

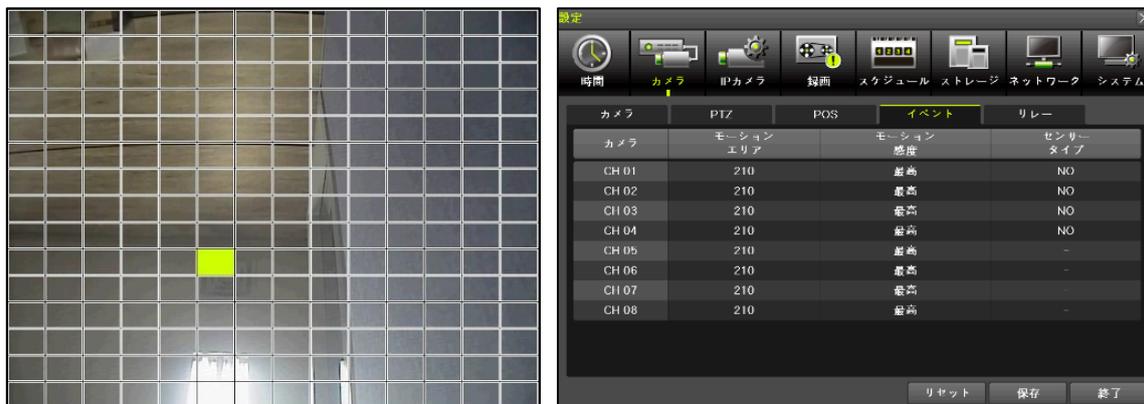


[図 3-8. イベントメニュー]

(1) モーションエリア

「モーションエリア、モーション感度、音声感度、センサータイプ」の設定ができます。

「メニュー」→「設定」→「カメラ」→「イベント」を選択します。



[図 3-9. モーションエリア設定]

- ① 変更するチャンネルのモーションエリアをダブルクリックします。
- ② フル画面表示モードに切り替わり、「14×15」ピクセル画面で表示されます。
- ③ 黄緑色のピクセルをマウストラックでモーションエリア設定できます。
※ 設定前：黒い線、設定後：白い線
※ 初期値は「14×15」全ての領域が選択されている状態です。

(2) モーション感度：最低 / 低 / 中 / 高 / 最高の設定ができます。

(3) 音声感度：最低 / 低 / 中 / 高 / 最高の設定ができます。

(4) センサータイプ：センサータイプの設定が可能です。(NO / NC)

3-2-5 リレー

リレーのタイプを設定できます。(NO、NC)

「メニュー」→「設定」→「カメラ」→「リレー」を選択します。



[図 3-10. リレータイプの設定]

3-3 IPカメラ

3-3-1 IPカメラ登録

[メニュー]→[設定]→[IPカメラ]→[登録]を選択します。

- ① IPカメラを接続する前にIPカメラのネットワーク設定を動的IP(DHCP)に設定することを推奨します。万が一IPカメラのネットワーク設定を固定IP(STATIC)方式に設定した場合にはIPカメラポートとIPカメラの帯域を一致させなければ検索できない場合があります。設定完了後、IPカメラポートと接続されたスイッチングハブにIPカメラを接続して検索ボタンをクリックします。



[図 3-11. IPカメラ登録メニュー画面]

- ② 検索リストに登録したいIPカメラを選択してから登録ボタンをクリックします。



[図 3-12. IP カメラ検索及び登録]

※ RTSPパケット損失の恐れがあるので、TCP使用をお勧めします。(基本設定値 : TCP)

3-3-2 映像設定

- ① IPカメラをダブルクリックして映像設定メニューを開きます。



[図 3-13. IPカメラ映像設定]

- ② 下記の図のように設定変更画面が表示されますので設定変更後、適用ボタンを押してください。



[図 3-14. IPカメラ映像設定画面]

3-3-3 IP カメラストリーム設定

[メニュー]→[設定]→[IPカメラ]→[ストリーム]を選択します。



[図 3-15. IP カメラストリーム設定]

- ① 変更したいチャンネルのストリームをダブルクリックすると下記の図のように設定変更画面が表示されます。
- ② ストリームの解像度、ビットレート、フレームレート値を設定して変更ボタンをクリックします。

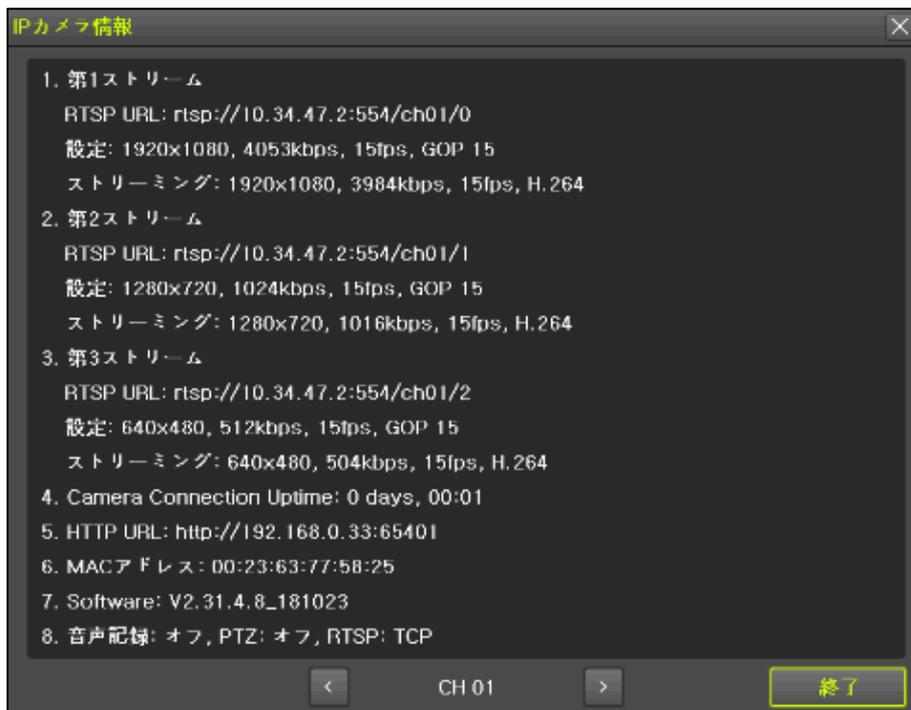


[図 3-16. IPカメラストリーム変更]

3-3-4 IP カメラ情報

[メニュー]→[設定]→[IPカメラ]→[登録]→[IPカメラリストをダブルクリック]→[IPカメラ情報]を選択します。

NVRに接続されているIPカメラの情報を確認する機能です。



[図 3-17. IPカメラ情報]

3-4 録画

録画とシステム環境の主な機能を設定できます。

ライブビュー画面で[メニュー]→[設定]→[録画]→[アラーム]を選択します。



[図 3-18. 録画設定画面]

3-4-1 録画設定 (録画設定1 ~ 録画設定4)

各チャンネルに4つのスケジュールを設定できます。各時間帯を録画スケジュールで設定すると異なる4つのスケジュールに設定できる機能です。「イベント、録画、アラーム、保持時間、ログ、Push通知」の設定値を録画設定1～録画設定4に設定した後、好きな時間に適用することができます。



[図 3-19. スケジュールの選択画面]

3-4-2 イベント録画

モーション、センサー、テキストイベントのオン/オフを選択することができます。



[図 3-20. イベント設定画面]

3-4-3 録画

(1) 録画解像度

録画するチャンネルの解像度を設定します。



[図 3-21. 録画設定画面]

(2) フレーム数

連続録画とイベント録画を同時に設定すると連続録画方式の場合は連続録画方式のフレーム数で、イベント録画の場合はイベントフレームで録画します。

通常記録レート	イベントに関係なく、連続的に設定したフレーム数の録画をします。
イベント記録レート	[3-4-2 イベント録画]で設定したイベントが発生した場合、設定フレームで録画します。

3-4-4 アラーム

イベント発生時に[ブザー、PTZプリセット、メール、リレー、モニター、FTP]の方法でアラームを表現します。



[図 3-22. 録画アラーム設定画面]

3-4-5 保持時間

プリアラーム(オン/オフ)、ポストアラーム(5秒/10秒/15秒/20秒/60秒/150秒/300秒)を設定することができます。

※ プリアラームはイベント発生時点の5秒前までの映像を保存します。



[図 3-23. 保持時間設定画面]

3-4-6 ログ

モーション、センサー、音声感検知のイベント発生時のログ記録を設定選択することができます。



[図 3-24. ログ設定画面]

3-4-7 Push通知

モーション、センサーのイベントが発生時にPushを送信するもしくは送信しないを選択します。



[図 3-25. Push 設定画面]

3-5 スケジュール

4つの録画スケジュールに対し、曜日 / 時間単位を設定する機能です。

ライブビュー画面で[メニュー]→[設定]→[スケジュール]を選択します。



[図 3-26. スケジュール画面]

3-5-1 スケジュール設定

録画設定1、録画設定2、録画設定3、録画設定4のいずれかのスケジュールを選択します。

(1) 選択方法

- ① マウスを利用して必要な曜日と時間をクリックして設定します。
- ② 時間(0~23)または曜日(日~休日)にカーソルを移動させた後、選択すると列のライン、あるいは行全体を一括設定できます。

(2) 休日登録



[図 3-27. 休日の登録画面]

休日に別のスケジュールを適用することができる機能です。

- ① [スケジュール] → [休日]を選択します。

	<p>※ [スケジュール]で休日と曜日の日付が同じ場合は、休日のスケジュール設定を優先します。</p> <p>※ 指定された祝日は緑色のタグが表示されます。</p>
--	---

- ② カーソルを休日に移動させた後、選択ボタンを押します。
- ③ 休日指定を完了させた後、メニューの下部の[保存]に移動し選択ボタンを押します。

3-6 ストレージ

ライブビュー画面で[メニュー]→[設定]→[ストレージ]を選択します。



[図 3-28. ストレージ画面]

	<p>ストレージメニューでの変更した設定を施錠に適用するためには設定を変更した後、保存する必要があります。</p> <p>初期化：デフォルトの設定値でメニューを設定します。</p>
--	---

3-6-1 画像保存制限

録画日数を制限する機能です。オフ、1日、7日、30日、ユーザー設定(1~99)を選択することができます。

3-6-2 HDD上書

HDD上書き設定が可能です。

オン	ハードディスクに空き容量がない場合、最も古い映像ファイルから上書きします。
オフ	ハードディスクに空き容量がない場合は、録画を停止します。

3-6-3 ローカルストレージ管理

- (1) ローカルストレージ管理機能

ローカルストレージとは、システム内部に搭載されたハードディスクやUSBに接続されたすべてのストレージデバイスを意味します。ローカルストレージデバイスは、[録画]、[バックアップ]、[新規]に分類され管理され以下のような機能を提供します。

① 録画

録画用ストレージ。録画用ストレージは、ハードディスクにリアルタイム保存することです。

新規	選択されたストレージデバイスを新規の状態に戻します。この項目を実行すると選択された保存装置は[新規]ストレージマネージャに移動します。
-----------	---

② バックアップ



[図 3-29. バックアップタブ画面]

バックアップストレージデバイスは、バックアップ専用のストレージデバイスになります。



ストレージデバイスによって「録画用」または「バックアップ用」どちらか一方の機能のみ使用できる場合もあります。

③ 新規



[図 3-30. 新規ストレージ画面]

NVRに新しく接続されたストレージデバイスを管理する機能です。認識された全てのストレージデバイスは、[新規]タブで管理され、新規状態で録画用「録画フォーマット」またはバックアップ用「バックアップフォーマット」として設定することができます。

録画フォーマット	選択したストレージデバイスを録画用(Recording)ストレージに変更します。
バックアップフォーマット	選択したストレージデバイスをバックアップ用(Backup)ストレージに変更します。



[新規]で認識されたストレージの中、1つ以上は必ず録画用ストレージデバイスとして選択しなければなりません。録画用のストレージデバイスがない場合には映像をリアルタイムで保存することができません。

(2) ローカルストレージ管理の構成

	※ ソフトウェアの状態は次の3つを示します。
アクティブ/正常	録画またはバックアップ用に接続されていて現在保存されているデバイスです。
オンライン	録画またはバックアップ用に接続だけされているデバイスです。
オフライン	録画またはバックアップ用接続されていないデバイスです。

3-7 ネットワーク

[メニュー]→[設定]→[ネットワーク]を選択します。

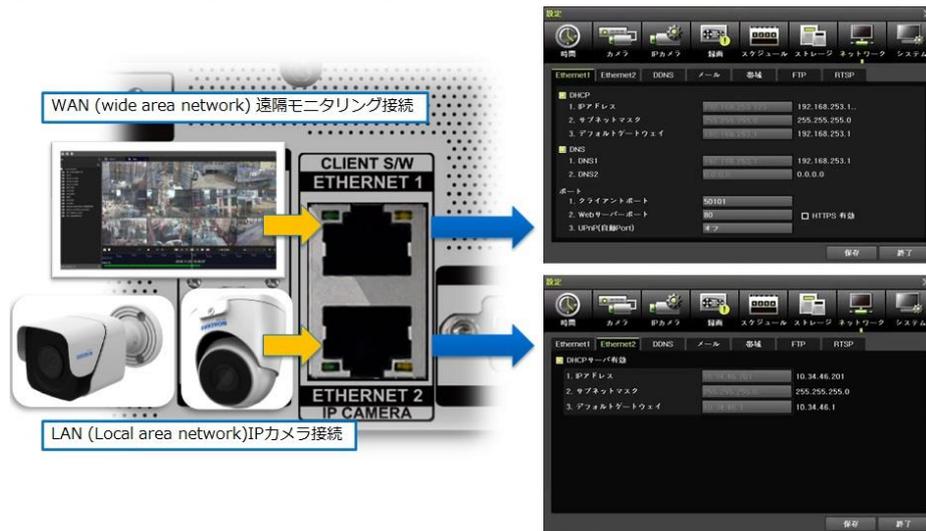


[図3-31. ネットワーク]

3-7-1 イーサネット (Ethernet1、2)

イーサネット設定は、遠隔地のCMS、Web、スマートフォンアプリからアクセスするための機能です。

デフォルトで「DHCP」が設定されています。「DHCP」はルーターから自動的にIPアドレスを割り当てることができる機能です。「DHCP」の使用を推奨しますが、直接IP設定を希望する場合は以下のようにチェックされている「DHCP」のチェックをオフにした後、固定IPの設定が可能です。



Ethernet1	WAN(wide area network) 遠隔モニタリング、ネットワーク接続ポート
Ethernet2	LAN(local area network) IPカメラの接続ポート



[図 3-32. Ethernet1 設定画面]

- ① [メニュー]→[設定]→[ネットワーク]で[Ethernet1]を選択します。
- ② [IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS、セカンダリ DNS、クライアントポート、WEB サーバーポート、UPnP(自動 Port)]項目を設定した後、保存ボタンをクリックします。
- ③ クライアントポートはユーザーが接続可能なポートを意味し、デフォルトでは「50100」に設定されていますが、ファイアウォールなどのネットワーク環境により任意の数値の設定が可能です。
- ④ WEB サーバーポートは NVR の監視のために使用するポートです。デフォルトは「80」です。
- ⑤ クライアントポートと WEB サーバポートはデフォルト「50100」と「80」を推奨します。

※ 「UPnP」とは設定したポートをルーターのポートまで自動的に関連付ける機能です。
この機能を設定する場合は、ルーターのポートフォワーディング設定は不要です。ルーターが UPnP 機能をサポートしない場合は、[WEB サーバーポート]と[クライアントポート]のポートフォワーディング設定を行ってください。

※ HTTPS ON の場合：この機能を使うためには認証書の発行が必要となります。なお、2 年ごとにファームウェアの更新が必要となります。認証書なしで使用する場合にはブラウザ上で正常に出力されない可能性があります。



[図 3-33. Ethernet2 設定画面]

- ① [メニュー]→[設定]→[ネットワーク]で[Ethernet2]を選択します。
- ② [IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ]項目を設定した後、保存ボタンをクリックします。

3-7-2 DDNS



[図 3-34. DDNS 設定画面]

DDNS(Dynamic Domain Name System)サービスとは、DNSシステムの一環としてホスト名に該当IPAddressを更新することができるシステムであり、動的IP(DHCP)環境でもURL接続ができるようにDynamic DNSを提供します。インターネットWebブラウザを通して接続、遠隔地の映像を監視(Monitoring)することができます。

- ① 「DDNS」の項目で使用する DDNS サーバーを選択します。
- ② DDNS名を入力した後、保存ボタンをクリックするとDDNS名の登録手続きが自動的に行われます。DDNS名は少なくとも2文字以上、最大20文字まで可能です。(基本DDNS名はNVRのMacアドレスが使用されます。)
- ③ 入力された DDNS のドメイン名が DDNS サーバーに既に登録されているドメイン名である場合、他のドメイン名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。**※ポート「5301」の開放が必要になる場合もあります。**

3-7-3 メール

メール機能はシステムエラー、イベント発生時にアラートを電子メールで送信する機能です。

[メニュー]→[設定]→[ネットワーク]→[メール]を選択します。

SMTPサーバーデフォルト設定値は、Gmailに設定されています。受信アドレスは、最大5つまで設定することができます。

映像イメージ添付機能を使用できます。メールを送信する送信間隔は[5秒、1分、3分、5分、10分]に設定ができます。



[図 3-35. メール]

- ① [メニュー]→[設定]→[録画]→[アラーム]でメール機能が「オン」に設定されている場合はイベントをメールで受信することができます。



[図 3-36. イベントメール設定画面]

- ② [メニュー]→[設定]→[システム]→[アラーム動作]→[アラーム動作]→[メール]でメール機能が「オン」に設定されている場合はシステムエラーをメールで受信することができます。



[図 3-37. システムエラーメール設定画面]

3-7-4 帯域



[図 3-38. 帯域設定画面]

- ① [メニュー]→[設定]→[ネットワーク]→[帯域]を選択します。
- ② ネットワークを利用したライブ映像出力時、映像の画像サイズ/画質などを調整及び帯域を制限することができます。
モバイル機器での映像閲覧時にデータの使い過ぎを防止するためにネットワーク(遠隔)の解像度を設定することができます。

画像サイズ	CIF / 2CIF / D1 / 960H / 720P / 1080P / 3MP / 4MP
画質	映像の画質を高く設定すると画質はよくなりますが、ネットワークの転送速度は速くなります。
帯域制限	NVRが使用するネットワーク帯域を56Kbps～8Mbpsに設定することができます。 設定値が大きければ大きいほどネットワークの伝送速度は速くなります。 ネットワークの帯域を制限したくない場合は[制限なし]に設定してください。
送信コーデック	JPEG / H.264 / H.265(機種によりH.265コーデック対応しないモデルもあります)
IPCストリーム透過	NVRからIPCAMのストリームをBypassしNetworkに転送します。

3-7-5 FTP



[図 3-39. FTP 設定画面]

FTP 機能は、イベントが発生した場合 JPG 画像を FTP サーバーに転送する機能です。

- ① [メニュー]→[設定]→[ネットワーク]→[FTP]を選択します。
- ② FTP1 または FTP2 を選択し、FTP サーバー有効をチェックします。

サーバーIPアドレス	FTPサーバーのIPアドレスを入力
ポート	FTPサーバーのポートを入力
ユーザーID	FTPサーバーのアカウントIDを入力
ユーザーパスワード	FTPサーバーのアカウントのパスワードを入力
FTPディレクトリ	JPGファイルを保存するFTPサーバーのディレクトリを入力
TEST	FTP Serverの設定が完了し、正常動作をしていることを確認する機能

FTPを有効にした後、[メニュー]→[設定]→[録画]→[アラーム]でFTP「オン」に設定した場合、データ送信することができます。



[図 3-40. FTP 送信設定画面]

3-8 システム

ライブビュー画面で[メニュー] → [設定] → [システム]を選択します。



[図 3-41. システム設定画面]

1. リモコン使用	※リモコンは使用不可(メニュー削除予定)
2. ユーザー設定	ユーザーの変更 / 追加 / 削除
3. アップグレード	機器のシステムファームウェア / 設定 / Logoを変更
4. 工場出荷時設定	初期化(ネットワーク設定を除く、全てのデータを工場出荷時のデータに初期化)
5. アラーム機能	システム障害イベントのアラームを設定
6. アラーム保持時間	アラーム周期を設定
7. 自動ログアウト	メニューからのライブビュー画面に移行する時間を設定
8. 言語	システムの言語設定
9. ビデオロス検知時間	イベント発生後、次のイベントチェックまでの認識時間
10. オペレーションタイプ	4MP、4Kモードを設定
11. 再生時ユーザー認証	再生時ユーザー認証有無を選択
12. ログアウト時映像非表示	ログアウト後のライブビュー表示の有無を選択

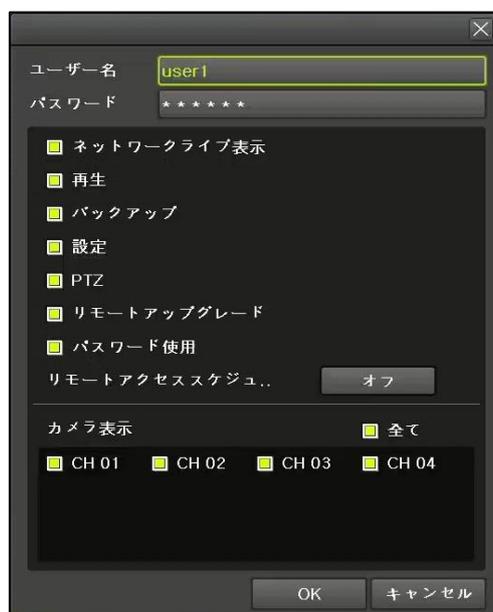
3-8-1 ユーザー設定

※ システムを運用するユーザーを変更 / 追加 / 削除することができ、以下のようなアクセス権限を設定することができます。

※権限設定が可能なシステム機能※	
ユーザー名 / パスワード	ユーザー名(※admin名は変更不可) / パスワード変更
ネットワークライブ表示	ネットワーク接続ライブ画面を表示
再生	録画された画像を再生
バックアップ	録画データ、ログバックアップ
設定	各種設定
PTZ	PTZカメラコントロール
リモートアップグレード	ネットワーク接続遠隔アップグレード
パスワード使用	パスワードを使用有無を設定 ※チェックを解除する場合、パスワード無しで本体・ネットワークログイン可能になるため、ご注意ください。
カメラ表示	各チャンネル別権限設定



ユーザーアカウントは、最大14個まで登録可能でユーザー名最大14文字、パスワードは英数字を混合して最大31文字まで登録が可能です。



[図 3-42. ユーザーの変更画面]

3-8-2 アップグレード

USB2.0ストレージデバイス、ポータブルストレージデバイスなどで機器のファームウェアと設定をアップグレードすることができます。

※ 製品に合うアップグレードファイルを準備してUSB2.0外付けストレージデバイス、ポータブルストレージデバイスなどを使用するデバイスの最上位のフォルダーにコピーします。

	1) PC からのアップグレードファイルをコピーした後、PC で USB デバイスを [ハードウェアの取り出し] した後、USB ポートから取り外すことをお勧めします。 2) もしアップグレードファイルが完全にコピーされていない状態で、USB デバイスを取り外すと NVR システムで自動認識できない可能性があります。
 Caution	アップグレードの途中に USB を取り外すとシステム損傷の恐れがあります。 アップグレードが完了すると自動的にシステムが再起動されます。

(1) ファームウェアのアップグレード

- ① [ファームウェア]を選択するとアップグレードファイルのリストと選択したファイルの簡単な情報が表示され、該当するファームウェアをクリックするとアップグレードの進行状況の情報画面が表示されます。



【図 3-43. ファームウェアのアップグレード進行状況画面】



※ 約3秒 ~ 15秒後、アップグレードと関連情報画面が更新されます。

- ① アップグレード情報の内容を確認しうえて、[はい]を選択するとアップグレードが開始されます。[いいえ]を選択する場合は[システム]画面に戻ります。
- ② アップグレードが完了されると自動的にシステムが再起動されます。
- ③ [メニュー]→[その他]→[NVR 情報]→[3.Software]でバージョン情報を確認できます。

(2) 設定データのアップグレード

- ① [設定データ]を選択するとアップグレードファイルのリスト及び選択したファイルの簡単なバージョン情報が表示されます。
- ② ファイル名を選択するとすぐにアップグレードが開始されます。



名前を選択するとすぐにアップグレードが開始されます。この場合にはメニューで設定された全ての設定値がアップグレードした設定に変わります。

(3) Logoのアップグレード

- ① 起動時のLogo画像を変更することができます。
- ② イメージフォーマットはJPG形式のみ使用可能であり、推奨サイズは[720 x 480]です。

3-8-3 工場初期化

[メニュー]→[設定]→[システム]→[工場出荷時設定]を選択します。初期化 (はい/いいえ) が選択できます。



すべての設定値が初期化されるので注意してください。
※工場出荷状態の初期値に設定されます。

3-8-4 アラーム動作

- ① [メニュー]→[設定]→[システム]→[アラーム動作]を選択します。
- ② アラーム機能はシステム的なエラーイベント[ビデオロス、HDD 満杯、HDD 未検出、ファン異常、HDD 異常、HDD 警告]が発生した場合にアラーム動作で設定した方法で通知する機能です。
- ③ [アラーム動作]で[オフ、ブザー、メール、リレー、ポップアップ表示、Push]を設定した後、アラーム機能を使用することができます。
- ④ [アラームリスト]で[ビデオロス、HDD 満杯、HDD 未検出、HDD 異常、HDD 警告]を設定することができます。



【図 3-44. アラーム動作】



【図 3-45. アラームリスト】

3-8-5 アラーム保持時間

録画とシステム的なイベントによって発生したアラームの持続時間を設定する機能です。

3-8-6 自動ログアウト

一定時間以上、何の入力もなかった場合に自動的にログアウトする機能です。

自動ログアウトの時間を設定することができます。

3-8-7 言語

システムの言語を変えることができます。23カ国の言語をサポートします。

3-8-8 ビデオロス検知時間

信号がなくなるイベント発生後、次の信号がなくなるイベントチェックまでの遅延時間を設定します。

3-8-9 オペレーションタイプ

「4K、4MP」の中でオペレーションタイプを選択できます。

3-8-10 再生時ユーザー認証

録画データを再生する際に2つのユーザーが認証をしないと再生機能が使われなくなります。

3-8-11 ログアウト時映像非表示

この機能をオンにするとログアウト状態ではライブ映像が非表示になります。

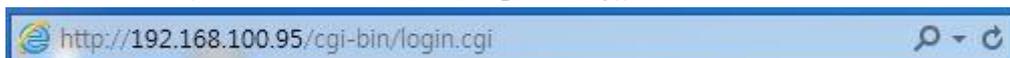
4. Webサービス

イーサネットとポートの設定を使用して[Webサービス]機能を提供しています。
この機能を使用してユーザーはNVRの設定と監視をWebブラウザで行うことができます。

4-1 Webサービス

4-1-1 Webサービス接続

NVRのIPまたはDDNSを設定したURLとWebアクセスポートを確認します。
ブラウザのアドレスバーに確認した「IPまたはURL：ポート」を入力し接続します。



[図 4-1. ブラウザのアドレスバーに入力]

以下のようなログインページが表示されますとローカルで使用する管理者IDとパスワードを入力した後、
[ログイン]ボタンをクリックします。

A screenshot of the NVR Web Service Login page. The page has a yellow background and a white title bar that says "NVR Webサービス ログイン". Below the title bar, there are two input fields: "ID" and "パスワード". The "パスワード" field contains the text "ユーザーパスワード". To the right of the input fields is a "ログイン" button. Below the "パスワード" field, there is a checkbox labeled "IDを保存".

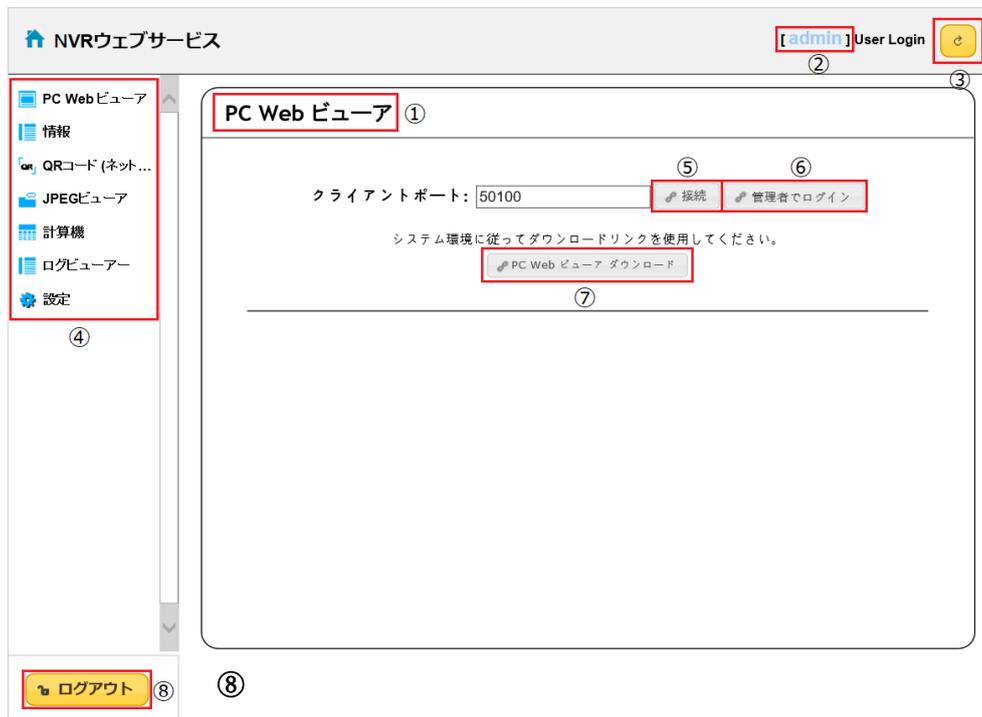
[図 4-2. ログイン画面]

	<p>※ 本サービスは、Internet Explorer環境に最適化されており、他のブラウザでは動作しない可能性があります。</p>
	<p>推奨ウェブブラウザ：</p> <ul style="list-style-type: none">・Internet Explorer 10バージョン以上・Chrome 42.0 バージョン以上 <p>上記以前のバージョンの場合はいくつかの機能が動作しない場合があります。 [PCのウェブビューアー接続]時はInternet Explorerで動作します。</p>

4-1-2 ウェブサービスの機能

ログイン後は[PCのウェブビューア、情報、QRコード、JPEGビューア、計算機、設定]などの機能が利用出来ます。

**メイン画面構成は以下の通りです。



[図 4-3. Webサービスのメイン画面]

- ① メイン画面に移動
- ② ログインユーザー名
- ③ 表示ページの再読み込み
- ④ PC Webビューア、情報、QRコード(ネットワーク情報)、JPEGビューア、計算機、ログビューア、設定などの機能を選択できる画面
- ⑤ PC Webビューアの接続 (ライブビューと再生)
- ⑥ 管理者権限でログイン
- ⑦ PC Webビューアのダウンロード
- ⑧ ログアウト

**現在接続したNVR情報確認が出来ます。

NVRウェブサービス [admin] User Login

情報

1. NVR名: 002363797ab0
2. Software: V1.6.070
3. Hardware: V1.0 (5brid)
CPU Usage: 6%
Memory Usage: 57%
System Uptime: 0 days, 01:41
4. ビデオモード: NTSC, FHD
CH 01: A-1080(AD) CH 02: なし
CH 03: なし CH 04: なし
5. ハードディスク情報 (上書き: オン)
合計容量: 2000 GB
空き容量: 1939 GB
開始日時: 2019/06/06 19:00:00 (201)
終了日時: 2019/06/28 10:00:00 (201)
6. ネットワークタイプ: 静的
IPアドレス: 192.168.100.240 (0.0.0.0)
クライアントポート: 50100
Webポート: 80
UPnP: オフ
MACアドレス: 00:23:63:79:7A:B0

ログアウト

[図 4-4. NVR / 情報画面]

**モバイルアプリでQRコードを利用して接続が可能です。

NVRウェブサービス [admin] User Login

QRコード (ネットワーク情報.)

IP : 192.168.100.240
ポート : 50100
ユーザー名 : admin

ログアウト

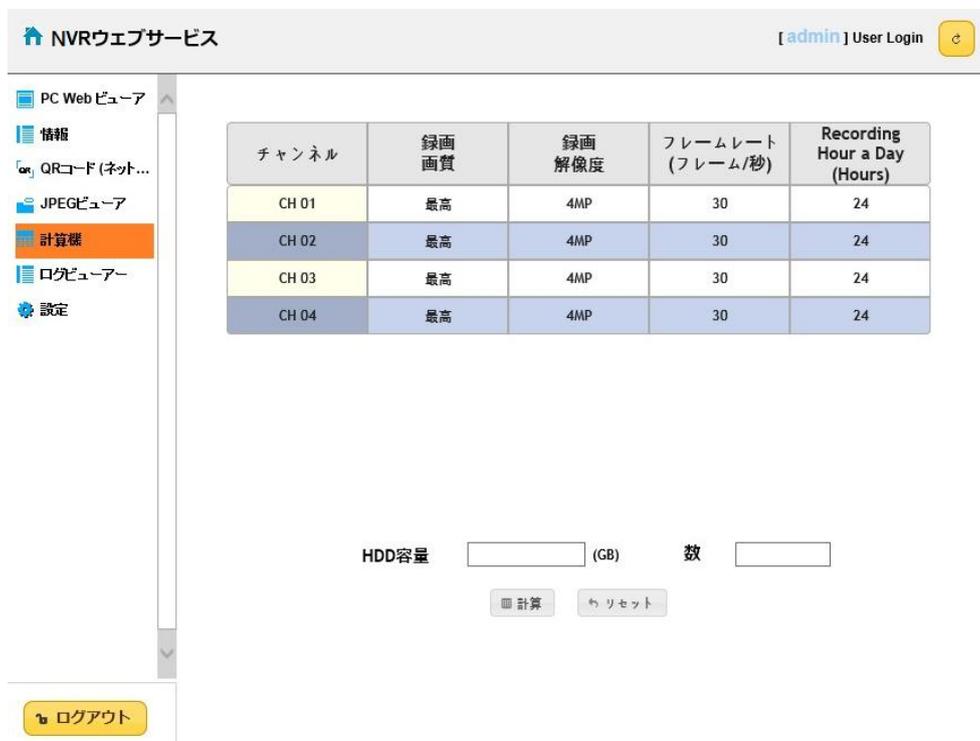
[図 4-5. QRコード情報画面]

**リアルタイム映像を秒単位でJPEGイメージとして確認可能です。



[図 4-6. JPEGビューアー]

**録画設定によって、ディスク容量に対して保存可能な日付と時間を計算できます。



[図 4-7. 計算機]

**チャンネルごとに録画設定が可能です。



[図 4-8. 設定録画ページ]

5. 別添 推奨するPTZカメラのプロトコル

NO	メーカー	モデル	プロトコル
1	HONEYWELL	SCANDOME2	HSDN-251
2	LG	LG	LG_MULTIX
			LG_OLD
3	PANASONIC	WVCS854	WVCS854
4	PELCO	PELCO	PELCO - D
			PELCO - P
5	SAMSUNG TECHWIN	SAMSUNG	SPD-1600
			SCC641
6	HITRON	FASTRAX2	FASTRAX2
7	COAX	COAX_OSD	UTP/Coaxitron OSD
		COAX_PTZ	UTP/Coaxitron PTZ

GFD[©]esign